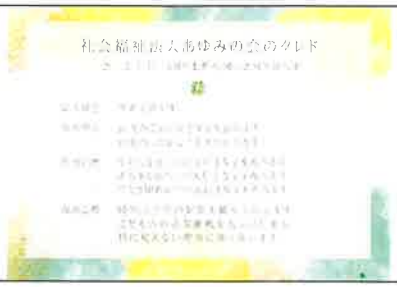
令和七年度

事　業　報　告　書

社会福祉法人あゆみの会

I.　総　論

1．令和７年度の主な活動

（1）　法人クレドを制定（「たっぷり、じっくりとまざり、ゆったりと暮らす」） 法人理念や保育理念、保育目標、保育心得を法人の約束とする法人クレドを制定、園内研修や日々の振り返り、様々な場面で唱和をすることにより、理念の共有化を図った。	
（2）　令和７年度は戸外活動、自然、循環を保育のテーマとし「すまいる委員会保育部会」に戸外委員会を設置し、法人全体で取り組んだ。各園の環境の中で生き物が生まれる場所、ビオトープを設置したり、廃棄食物を土に戻すコンポスト活動、鶴ケ岡すまいる保育園、伊佐沼すまいる保育園では園庭に池を設置するなど、自然をテーマに保育に取り組んでいる。	
（3）　保育者が自然実体験を通じ、自然の循環や生活の中での仕事を感じるため、山梨県清里で汐見稔幸先生が主宰する「ぐうたら村」にて１泊２日の宿泊研修「ぐうたらジャーニー」を年３回実施。約３０名の保育者がぐうたらジャーニーを経験した。	
（4）　ソニー教育財団「科学をする心を育む」懸賞論文に鶴ケ岡すまいる保育園、伊佐沼すまいる保育園が保育論文を応募、鶴ケ岡すまいる保育園が奨励園を受賞した。	
（5）　地域活動として、ふじみ野市の福祉第二層会議の委員として、第一層会議に参画。地域の高齢者施設との交流や社会福祉協議会の埼玉フードドライブ、衣類バンク、スタバでのパパママカフェ、地域の方に子どもたちがティッシュを配るあいさつキャラバン等、地域活動に積極的に取り組んだ。令和７年１１月２９日、ふじみ野市誕生２０周年記念事業としてふじみ野市ステライーストにてトークイベント「つながる。やさしいまち ふじみ野」第３部に鶴ケ岡すまいる保育園・となりのすまいる保育園の園児が参加、３００名が集まった会場でティッシュを配るあいさつキャラバンを実施、会場に来た高齢者の方に非常に喜んでいただいた。またその様子は市報にも掲載された。	






（6） 鶴ケ岡すまいる保育園の保育実践が書籍で紹介、ぎょうせい社より出版された「心の発達と「レジリエンス」の育て方」において、法人のすまいる委員会、園児だけでなく、保育者の心理的安全性を高める工夫が紹介された	
（7） 園見学者が多数訪れた。令和７年４月韓国より「麗水市国公立保育園長海外研修団」２１名が鶴ケ岡すまいる保育園を訪問、国際交流を深めた。その他、関東近辺だけでなく近畿、関西、九州や東北、北海道等から見学者が多数訪れた。北海道の旭川の沼田町沼田保育園、宮古島心愛こども園と今後、職員交流を進めていく予定である。	
（8） フレネ教育研究会「パパ・フレネの会」事務局として積極的に取り組んだ。２０２５年６月７日、宮台真司氏を講師にお招きし「子どもを森に帰せ」というテーマで。けやの森学園の話の中で講演会を実施、１００名の参加者があった。同９月１２日一級建築士井上寿先生をふじみ野市にお招きし講演会「子どもの主体的な育ちのための環境づくり」を開催、１００名の参加者があった。また同研究会のテキストであったセレスタン・フレネ著の「感覚的心理学試論」について、フランス哲学ベルクソンの研究者である阿部一智氏によるの邦訳書を出版した。	
（9） 保育アプリ、チャイルドケアウェブを本格導入、コドモンより移行した。これにより園児に関するタを一元化利用することが可能となり、日々の連絡帳や保育日誌が保育計画や保育要録等、様々なることが出来るようになった。	
（１０） 伊佐沼すまいる保育園　こども誰でも通園制度余裕活用型令和８年度より実施	

２．保育の体制等について

本年度は認可保育園５園、企業主導型保育所１園の６園、約２２０名の保育者で約４５０名の園児の保育を行った（令和７年３月現在）。

１）すまいる委員会について

令和七年度「すまいる委員会」は５部会・１３委員会にて行った。毎月各園から委員が集まり、委員会にて実践報告や提案を行い、その成果を各園保育に反映した。本年度より長年の課題であった法人内のグループウェアについて「グーグルワークスペース」を採用、法人の全職員に個人用メールを配布、スケジュール管理やオンライン会議、スケジュール管理、ポータルサイト、フォームや法人業務専用チャット、研修用クラスルームやドライブの共有など、コミュニケーションや情報

共有が格段に改善された。。一方、情報発信や共有が容易になったことで、情報が錯そうすることもあり、通達制度やマニュアル、委員会の進め方について検討が必要である。

令和７年度すまいる委員会

部会名	委員会	主なテーマ
保育部会	環境委員会	保育環境（玩具・教具・環境）の改善
	発達人権委員会	発達理解・感覚統合・計画指導案作成
	戸外委員会	園庭・戸外活動・ビオトープ活動
研修部会	法人研修委員会	合同研修、トミーの日、法人外研修
	地域委員会	社会福祉協議会との連携、地域活動
安全部会	安全委員会	安全管理
	看護委員会	健康・衛生管理
食育部会	保育食育委員会	食育計画
	厨房委員会	厨房業務
総合部会	監査委員会	監査、園の自己評価、保育士の自己評価
	事務委員会	ICT 化の推進、事務の合理化
	広報採用委員会	求人情報、養成校、ハローワーク、求人
	HP 委員会	パンフレット、HP、SNS、画像、動画作成

① 令和７年度のすまいる委員会アドバイザー

子ども教育宝仙大学保育学科准教授　富山大士先生（保育アドバイザー）
・ 法人各園を保育環境評価ｽｹｰﾙ ECARS（Early Childhood Environment Rating Scale）により、保育者とともに保育・保育環境を振り返るｸｵｰﾚの日に同行、巡回指導をいただく。 ・ 汐見稔幸先生主宰「臨床育児・保育研究会」の事務局、ｷｬﾘｱｱｯﾌﾟ研修の講師や私立保育園連盟の研修部と連携するなど、全国の優良園や研究者と幅広いネットワークを有している。 ・ 当ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰより国内外での特筆する保育実践や園見学や連携、法人の園内研修の際のﾃｰﾏ別の講師の紹介等、新卒保育士の採用等、幅広い支援をいただいている。
一級建築士・子ども環境アドバイザー・株式会社 Integral Design Studio 代表　井上寿先生（保育環境アドバイザー）
・ 井上先生は子どもの発達のための環境整備の第一人者の一人である設計士仙田満先生の環境デザイン研究所において長らく設計士として勤務を担当。 ・ 汐見稔幸先生主宰「ぐうたら村」理事、文科省の施設整備指針の策定等に関わるなど学術的な研究も多く、全国の多くの園からの依頼により園庭、保育環境の改良整備を行っている。 ・ 法人各園の子どもたちの保育環境を整備するため、保育者（保護者の方）とともに、環境整備のワークショップにおいてロフトやブランコ、すべり台等を制作するなど、園庭や保育室の保育環境を整えている。

2）課　題

・ 令和８年度はすまいる委員会に「提案」「決裁」「実行」「確認」のサイクルを担う機能を設ける。部会委員会は業務の改善提案、部会長は決裁、主任を中心とする園務実行委員を新設し園内での実行、監査委員による実行状況の確認を行う。

・ 情報の錯そうを防止するため、すまいる委員長による通達制度、すまいる保育ガイドラインを日常の保育、委員会活動、入職者への説明、研修のなかで活用していく。

３．主な研修について

１）ぐうたらジャーニー

令和７年７月３１日・８月１日／１０月９日・１０月１０日／１１月１３日・１４日





２）井上環境アドバイザーによる園舎・園庭整備

開催日	開催場所	内容
６月５日	となりのすまいる保育園	保育環境ワークショップ
７月９日	伊佐沼すまいる保育園	保育環境ワークショップ
８月２８日	鶴ケ岡すまいる保育園	保育環境ワークショップ
９月１２日	ふじみ野市ココネ	保育環境講演会
９月１３日	三丁目すまいる保育園	保育環境ワークショップ
９月１４日	鶴ケ岡すまいる保育園	保育環境ワークショップ
１１月２日	板橋保育園	保育環境ワークショップ
１２月２５日	三丁目すまいる保育園	保育環境ワークショップ

ワークショップの様子



屋外遊具



保育室のロフト

３）令和７年度　富山保育アドバイザーによる園内研修

開催日	研修内容
６月２４日	往還型階層別研修（第１回目　新入職者・チューター）
７月１５日	往還型階層別研修（第１回目　非常勤職員・中堅者）
９月１６日	往還型階層別研修（第２回目　新入職者・チューター）
１０月２１日	往還型階層別研修（第２回目　非常勤職員・中堅者）
１月２０日	往還型階層別研修（第３回目　新入職者・チューター）
２月１７日	往還型階層別研修（第３回目　非常勤職員・中堅者）

②　法人の主な研修・勉強会等

第一回合同研修　虐待防止・個人情報保護他	４月１１日
第一回管理職研修	４月２６日
第二回管理職研修	１１月８日
第三回管理職研修	２月７日
第二回合同研修　令和８年度の体制等について	２月２８日

研修名	研修内容	開催日時
パパフレネの会	フレネ教育実践研修	４月１４日

パパフレネの会	宮台真司先生講演	６月７日
パパフレネの会	フレネ教育実践研修	８月１９日
パパフレネの会	井上寿先生講演	９月１２日
パパフレネの会	フレネ教育実践研修	１０月２２日

＊各園研修参加状況については各論をご参照ください。

4）施設等指導監査について

日時	監査主体	監査対象
６月４日	監事監査	令和４年度決算書・事業報告等
６月１８日	法人内部監査	伊佐沼・高階
７月８日	川越市指導監査	伊佐沼・高階
７月２４日	法人内部監査	となりのすまいる保育園
８月１４日	児童育成協会監査	となりのすまいる保育園
１０月２２日	法人内部監査	鶴ケ岡・三丁目
１１月１８日	法人内部監査	板橋
１月２１日	埼玉県本部監査	法人本部

本年度は法人監事監査、法人内部監査を実施、川越市・児童育成協会・ふじみ野市の行政実地監査、鶴ケ岡すまいる保育園、三丁目すまいる保育園については埼玉県による書面監査が行われた。

行政監査に先立ち、法人の内部監査を実施、順法意識を確認した。実地監査・書面監査について各施設とも特段の指摘はなく、社会福祉法人、認可保育園、企業主導型保育園のルールに従い問題なく運営されていることが確認された。

自己評価ガイドラインを基に保育所による保育内容の評価、保育者の専門性や職員間の協働性を高めていくための取り組み（保育者による保育内容の評価）を行った。保育者自己評価チェックリストにより年間２回のチェックを実施した。

（2）インカムの活用

令和７年度は施設間のコミュニケーション、園児の安全確保のためインカムを活用した。

（3）本部機能の充実について

ICTを活用するため、システムの専門家を採用。法人内システムぴんぽんについて展開した。

社会保険労務士と顧問契約、社会保険等の手続きなどについてアドバイザーを採用。

（4）その他

1）定期理事会

令和７年６月４日
令和７年１２月１１日
令和８年３月２６日

2）定期評議員会

令和７年６月２０日

3）その他

令和７年６月１９日　評議員選任解任委員会
令和７年６月２０日　理事会（理事長選任）
令和７年８月９日　　理事会（社会福祉充実計画）
令和７年８月２９日　評議員会（社会福祉充実計画）

以　上

令和７年度　伊佐沼すまいる保育園　事業報告書

Ⅰ．令和７年度　総括

令和７年度は、法人テーマ「自然（戸外）」～手探りの経験と偶然の出会い～、園のテーマ「豊かな自然とのかかわり」「柔軟な思考で挑戦」「絵本・わらべうた」のもとに園児６７名でスタートしました。

日々の活動の積み重ねを大切にしながら、戸外活動を通した自然との関わりを深め、子どもたちの主体的な学びを育む保育に取り組んできました。園庭や散歩先で草花や虫など身近な自然に触れ、四季の移り変わりを感じる経験を重ねる中で、子どもたちは小さな発見に目を向け、興味や関心を広げていきました。自然物を使った制作や生き物との触れ合い、土や砂、水などの感触を味わうなど、日々の体験が子どもたちの豊かな感性や探究心を育みました。その中でも、昨年度完成したビオトープには、少しずつ生き物が集まり、生き物や植物の様子を観察する場となっています。

このような環境や活動を通して、生き物同士の繋がりや命の大切さ、自然や循環への関心を少しずつ広げていってほしいと感じています。

さらに、絵本の読み聞かせやわらべ歌などを保育に取り入れることで、子どもたちの想像力や言葉への関心を育むとともに、友だちと心を通わせながら遊ぶ経験を大切にしてきました。物語の世界を楽しんだり、歌や遊びを通して気持ちを共有したりする中で、子どもたちの表現力や人と関わる力が育まれています。こうした日々の経験の積み重ねが、子どもたちが柔軟な思考をもち、自分なりに考えながら新しいことに挑戦しようとする姿へとつながっています。

また、日々の活動の中から生まれた様々な実践を「ソニー幼児教育支援プログラムの良く実践論文」に「循環との出遭い」として応募し、保育の質の向上と実践の発信にも取り組みました。日々の保育の中での気づきや学びを振り返り、共有することは、保育者一人ひとりの専門性を高めるとともに、保育のさらなる充実につながるものと考えています。

今年度も、多くのご家庭に保育参加に来ていただき DIY にも参加していただいたり、保護者の皆様には日頃からご理解とご協力をいただいております。地域の温かな支えもあり、子どもたちは多くの人に見守られながら、安心して様々な経験を重ねることができました。今後も保護者や地域とのつながりを大切にしながら、子どもたちが主体的に学び、心豊かに成長していく環境づくりに努めてまいります。



れんげ畑では、寝転んだり、草花を摘んだり、虫を探したりしました。



豊かな自然とのかかわりには、たくさんの発見があります。



泡の感触を楽しむ、にこにこ組の子どもたち



落ち葉で遊ぶ子どもたち。自然からの贈り物です。





論文の保育実践
・蝶を呼び、卵の羽化を通じ生命のじゅんかんを経験する。・野菜を通じて食物の循環を知る。・食物の変化、可能性への気づき（粉作り・色作り）

2. 児童利用状況

（1）月別利用児童受託状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	4	4	6	7	9	9	10	10	10	11	11	11
1歳児	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
2歳児	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
3歳児	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
4歳児	8	9	8	9	8	9	8	9	8	9	8	9
5歳児	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10

（2）延長保育利用状況（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用総人数	28	22	28	36	54	38	37	44	46	34	37	

3. 保育園開所時間

		保育標準時間	保育短時間	備考
早朝延長	7:00～8:00	最大11時間	有　料	
通常保育	8:00～16:00		最大8時間	
夕方延長	16:00～18:00		有　料	
有料延長	18:00～19:00	有　料		土曜日は無し

4. 職員

（1）3月1日時点での在籍内訳（人）

常勤職員	11人	保育士	9人	看護師	0人	栄養士	2人	支援センター	0人
パート職員	24人	保育士	12人	看護師	1人	栄養士	1人	支援センター	1人
		保育事務	3人	保育補助	7名	調理員	1名	嘱託医	2名

5. 運営報告

（1）開催した施設内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

わくわく会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
にこにこ会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

（2）各種ワーキングチームを設置し、職員主体での運営

安全 WT	園内外の環境整備および保全、安全・防災に関する意識の強化、子どもと保護者への情報発信と学び合いに務める。ヒヤリハットの収集、各種訓練の計画・振り返りを行う。
食育 WT	健康な生活の基本としての「食を通した命の営み」の育成に向け、その基礎を培えるよう、食育計画の作成や食育環境、栄養管理などに取り組む。 保育と給食の一体化を目指して、栄養士、調理員、保育者が連携する。

6. 保育・処遇

（1） 保育・保護者面接および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	・保育者と保育内容や環境について共有し、適宜、悩みや戸惑いに寄り添うよう努めた。クラス会議、日々の振り返り等で、職員間の対話を重ねながら子どもにとってより良い環境とは何かなど考え、想いを形にするよう心がけた。 ・日々のドキュメンテーションの作成・発信、定期的にポートフォリオの作成を行い、個々の発達の把握、共有を行った。 ・職員とは定期的に個別面談を行った。
保護者面談および発達相談	・保育参加後の個人面談や日々のやり取りを通して、現在の子どもの状況を共有することで、双方の理解を深めながら子どもへのかかわりや環境について考える場を設けた。また、保護者・保護者の悩み等は、適宜個別面談を行い、子育ての不安を解消した。
園児の保護者への支援および意見要望への対応	・日々の連絡帳や口頭による要望、ご意見箱に投函された書面、保護者会役員からの質問等にはその都度対応した。連絡帳でやりとりが難しい内容は直接話しをする場を設けた。 ・保護者アンケートを実施し、意見や疑問に対しては、保護者懇談会等で全体に向けて発信を行い、個別の要望に関しては、直接やりとりをし、丁寧に伝えた。

（2）年間行事の振り返り

・親子ふれあい遊び会： 農業ふれあいセンターの体育館にて行いました。当日は、わくわく組のご家族や卒園児等たくさんの方々が参加し、思い切り身体を動かし親子の触れ合いを楽しみました。子どもたちの成長を見てもらうと共に、普段はなかなかできない触れ合いがたくさんあり、笑顔いっぱいの会になりました。

・ウインターフェスタ：作品展を同時に行い、日々の遊びや活動の中で生まれた表現を通して、子どもたちの成長を感じてもらうことができました。フェスタでは、自然物を活かした制作や、染物、紙すきなど普段の保育からつながっている活動を親子で楽しみました。また、ダンス披露し、身体を使って表現する楽しさを味わいました。サンタさんとの触れ合いなど、クリスマスも意識した行事となりました。

・秋祭りウイーク：焼き芋会、ハロウィンなど、地域の方にも声を掛け、一緒に楽しみました。特にハロウィンでは、今年度も地域のご家庭に協力をいただき、仮装して訪問し、お菓子をもらったり、交流をしたりしました。地域に見守られているのを実感した

と同時に地域の方々も楽しみにされていて、子どもたちとの触れ合いを通して、地域の活性化につながると感じている。

その他、姉妹園交流や、園バスを利用した「けやの森学園」への遠足、お別れ遠足、年長児の観劇会など、園外へも積極的に出かけ、様々な人との関わり、たくさんの経験ができた





けやの森への遠足



親子ふれあい遊び会
思いきり身体を動かし、親子の触れ合いを楽しみました。



地域の方も子どもたちも笑顔いっぱいのハロウィン



子どもたち、保護者、先生たち、そしてサンタさんと楽しんだウインターフェスタ

給食・食育運営状況

個々の発達や生活リズムに合わせて、ゆったりと和やかに食事ができるよう環境を整え、個々の気持ちを尊重した関わりを心がけ、一人ひとりのペースに合わせて食事がとれるようにしている。



にこにこ組では、給食の食材の季節の野菜を洗ったりちぎったりと関わる機会をたくさん経験し、プランターでのじゃがいも、かぶに水をやり、収穫をしてお味噌汁のクッキングを行いました。秋祭りには、園庭で火を起こして焼き芋を焼き、園庭でみんな一緒に給食を食べた。

わくわく組では、厨房と連携を取りながら、３食品群で給食の食材の栄養バランスを学んでいます。また、畑にじゃがいも、きゅうり、茄子、かぼちゃ、すいか、かぶ、大根など様々な野菜を育て、収穫をし、その野菜を使い、いろいろな調理を工夫して食べました。その他にもうどん作り、ポテトサラダ、ケーキ作りなどたくさんのクッキングを行いました。様々な食育活動を通して、食への興味、関心が高められたと思います。



・SDGｓの取り組みは今年も継続し、コンポストに厨房から出た野菜くずを子どもたちと一緒に細かくして入れ撹拌して、できた堆肥を栽培活動に利用しています。わくわく組の当番が保育者と一緒に細かくしてコンポストに混ぜ込みます。	

・

（４）保健に関する実施結果

園児健康診断	年２回実施（６月 12 日・11 月 11 日）
歯科健診	年１回実施（６月４日）
保健だより	毎月１回発行（CCW にて発信・園内掲示）
職員健康診断	年１回実施（11 月８日、11 月 29 日）
職員検便	年度内：全職員、毎月１回：０歳児担当者、厨房担当者
流行した感染症	インフルエンザＡ・Ｂ（48 名）、新型コロナ（３名）、流行性結膜炎（４名） 溶連菌感染症（２名）、手足口病（２名）、感染性胃腸炎（９名） ヘルパンギーナ（６名）突発性発疹（７名）とびひ（３名） ※11 月にインフルエンザＡが流行、罹患者が 10 人を超えたため、保育課と保健所に報告する。また今年度は、Ａ型、Ｂ型の両方に感染した園児もいた。
その他、保健に関する取組	５月 10 日、５月 24 日に、全職員対象で普通救命講習を受講する ８月 14 日、15 日、３月 28 日、30 日（予定）に厨房害虫駆除実施

（５）避難訓練等実施状況

実施日	訓練内容	消防署立会	消防署届出	その他
４月 15 日	避難・初期消火	無	無	
５月 15 日	避難・初期消火	無	無	
６月 13 日	総合防災訓練	有	有	通報訓練 水消火器訓練
７月 15 日	避難・初期消火	無	無	
８月 18 日	避難・初期消火	無	無	
９月 16 日	避難・初期消火	無	無	
10 月 17 日	総合防災訓練 広域避難場所避難	無	有	通報訓練 引き取り訓練
11 月 18 日	避難・初期消火	無	無	
12 月 15 日	避難・初期消火	無	無	
１月 15 日	避難・初期消火	無	無	
２月　17 日	避難・初期消火	無	無	
３月　17 日	避難・初期消火	無	無	予定

7. 危機管理

（１）非常災害備品の設置

・非常食の賞味期限、備蓄用品の確認を行う。※賞味期限切れの食材の入れ替えを行いました。

（2）侵入者、不審者対応、水害訓練、散歩時の緊急対応訓練、引き渡し訓練

・不審者訓練：1月22日　川越警察署指導のもと、対応の仕方を学びました。
・水害訓練：7月16日・12月15日　保育園の周りが浸水したことを想定2回に避難
・引き渡し訓練：10月17日　実際に農業ふれあいセンターに避難し、引き渡し訓練を行いました。
災害備品の展示、非常食の試食も行いました。

（3）実施した環境整備の状況

・ 厨房設備の一部入れ替え（給湯器・ガステーブル）
・ 一階玄関ホールの改修、風のテラスにテーブル、椅子の設置、テラスの修繕など



風のテラスのテーブルや椅子は、アトリエとしても利用しています

（4）園外保育での緊急時対応

・ 毎月28日を「散歩の日」として、緊急時の対応訓練を行いました。
・ （4月・5月・6月・10月・11月・1月・2月にこにこ、わくわくそれぞれのクラスで行う。）
・ 天候急変・子どもの怪我・子どもが動けない・不審者、急な道路の通行止めによる迂回など散歩先での対応や連絡を受けた事務所の対応を確認し実際にシミュレーションレーションを行いました。

8.　地域との関わり

（1）子育て支援

・ハロウィンや焼き芋会などの行事に、つどいの広場、一時保育利用の子どもたちも一緒に参加するなど、積極的に園行事に地域の方の参加を促しました。
・ブログやインスタグラムなどを通して園の様子を発信しました。

（2）つどいの広場

今年度のつどいの広場は、延べ約1300組、2300人の利用がありました

新しいイベントを企画し、毎月多方面の地域の親子が参加してくださいました。イベント効果か、毎月多くの予約がありました。リトミック、ミニ運動会、防災クッキング、写真撮影会、季節の制作などをおこなったり、秋に川越運動公園に行ったりしました。また、給食試食会も実施。食事に関する悩みも伺いながら、楽しく給食を召し上がっていただきました。



つどいの広場は、いつも
地域の親子の笑顔がいっぱいです

（3）一時預かり事業

・今年度も、就労、緊急、短時間、リフレッシュの利用がありました。就労での定期的な利用のほかに、月一回のリフレッシュをコンスタントに利用されるご家庭もあり、育児の負担軽減につながっていると感じています。また、年度途中の急な転居等で、保育所への入所ができなかった3歳以上児の一時的な利用も何件かあり、子ども、保護者のニーズに応えられたと感じます。

9. 職員研修

（1）園内研修実績

実施日	テーマ・内容	
4月12日	クレドについて・子どもの人権・SIDS・個人情報・散歩マニュアル・BCP・不審者対応・食中毒・感染症・保育中の事故（水・熱中症・誤飲誤嚥・ヒヤリハット等	21名
6月21日	親子触れ合い遊び会【行事】	12名
8月30日	保護者対応・自己評価振り返り・安全（毒虫について）・写真について 研修報告（新任保育士向け研修、幼児期からの性教育、ぐうたら村）	10名
10月18日	・感染症 ・BCP ・不審者 ・散歩マニュアルの見直し、更新	14名
12月6日	・ハラスメントについて・グーグルワークスペースについて 大掃除	16名
12月21日	・ウインターフェスタ【行事】	
2月28日	・合同園内研修	14名
3月14日	卒園式【行事】 環境整備	18名
3月28日	新年度準備、引継ぎ、安全について（予定）	

ぐうたらjourney（ぐうたら村研修）
7月31日・8月1日（2名参加） 10月9日・10日（3名参加） 11月13日・14日（3名参加）

管理職研修：4月26日、11月8日 2月7日

トミーの日：6月24日（新入職・チューター） 7月15日（非常勤職員・中堅者）
9月16日（新入職・チューター） 10月21日（非常勤職員・中堅者）
1月20日（新入職・チューター） 2月17日（非常勤職員・中堅者）

（２）外部研修実績

実施日	テーマ・内容	参加人数
5/10・5/24	普通救命講習	全員
5月（視聴）	夢中になって遊びこむ保育　　川越市研修	4名
6/7	子どもを森へ帰せ（宮台真司先生講演会）・けやの森自然塾	15名
6/25	子どもの怪我・事故・誤飲の対処法	1名
7月（視聴）	保育の中の性教育　　川越市研修	7名
7/13	ぐうたら村夏の保育セミナー	2名
7/25	保護者とのコミュニケーション・相談援助	1名
7/25	埼玉県新任保育士研修	1名
7/29	こころもからだも丸ごと育てる遊びの力	6名
8/7	埼玉県保育士等資質向上研修　　保育所における自己評価ガイドライン	1名
9/12	井上先生講演会　子どもたちの主体的な環境のために	11名
9/21	食物アレルギーの子どもが楽しめる保育	3名
10月（視聴）	子どもの発達や特性を理解した保育と保護者支援を考える	3名
10/22	埼玉県保育士等資質向上研修　　若手保育士とのコミュニケーション	1名
10/22	埼玉県保育士等資質向上研修　　医療的ケア児	1名
10/28	いまなぜ子ども真ん中保育なのか	4名
7/31.8/1 10/9.10/10 11/13.11/14	ぐうたら journey	計8名
11/12・12/10	そあ季の花保育園園見学	4名
11/26	埼玉県保育士等資質向上研修	2名
12/15	八国山保育園　見学	2名
12/3	食べることを育てる　運動発達から考える	2名

1/29	GT 埼玉のつどい　バンビ保育園園見学	2 名
1/31	絵本作家講演会	2 名
2/27	汐見先生講演会　　わかること　知ること　そのバランスについて	14 名

（3）キャリアアップ研修受講実績

実施日	研修分野	人数
e ラーニング Ⅰ期	乳児保育	5 名
	幼児保育	3 名
	障害児保育	1 名
	食育・アレルギー対応	8 名
	保護者支援・子育て支援	1 名
	保健衛生・安全対策	4 名
	マネジメント	5 名
e ラーニング Ⅱ期	乳児保育	1 名
	幼児保育	5 名
	障害児保育	1 名
	食育・アレルギー対応	1 名
	保護者支援・子育て支援	1 名
	保健衛生・安全対策	4 名
	マネジメント	5 名

令和7年度 三丁目すまいる保育園 事業報告書

1．令和7年度 総括

今年度は、法人園「となりのすまいる保育園」と連携し、全職員・全園児が一体となった保育の実践を行った。職員間で日常的な情報共有を行い、保育の専門性を高め合うだけでなく、一つの大きなチームとして協力関係を築き上げた。

また、子どもたち同士の交流も積極的に行い、子どもも職員も法人全体でつながり、共に育ち合う喜びを共有することができ、一人ひとりの発達に寄り添う丁寧な保育を実施することができた。

（1）保護者・地域コミュニティとの繋がり

「成長展」を今年度も引き続き実施した。保護者の方が自分の子どものみならず、共に過ごすお友だちの作品を見て成長を喜び、想いを共有する姿があった。成長展を通して園児・保護者・保育者が一体となる温かな空間となった。

地域の伝統である「上福岡七夕まつり」への参加やふじみ野市社会福祉協議会と連携した「つながる相談窓口」や、埼玉県フードドライブキャンペーン、衣類バンクなど、地域の活動を行った。

スターバックスコーヒー店舗を使用したパパママカフェや、挨拶キャラバンなどの地域交流も実施、地域に開かれた、安心感のある保育園としての役割を果たしている。

（2）保育アプリ（チャイルドケアウェブ）の本格活用

今年度は保育アプリ「ChildcareWeb（チャイルドケアウェブ）」を本格活用し、保育業務の ICT 化を推進した。同アプリの導入により、子ども一人ひとりの情報の共有や、日々の記録・書類の整備がスムーズに行えるようになった。職員間の情報伝達の精度が上がっただけでなく、事務作業の効率化が図られ、子どもたちとじっくり向き合う姿が増えてきている。

保育部会（姉妹園合同）を通して、ドキュメンテーションを学んだことで、職員が良い環境で、専門性を発揮しながら仕事に取り組める体制が整ってきている。

（3）子どもが自ら挑戦する環境

井上寿先生によるワークショップを実施、子どもが安心して「隠れられる空間」、じっくりと世界に入り込める「ままごとゾーン」や「アトリエ」などを設置した。この環境の変化により、子どもは自ら好きな遊びを選択し、それぞれのゾーンで集中して遊ぶ姿が見られる。

来年度以降も法人姉妹園との連携を密にしていきながら、保育を進めていきたい。







2. 児童利用状況

(1)月別利用児童受託状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	5	5	5	10	15	15	15	14	15	15	15	14
1歳児	22	22	22	21	22	22	22	22	22	22	22	22
2歳児	23	23	23	22	23	23	22	22	23	22	22	21

(2)延長保育利用状況(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用総人数	67	73	70	75	65	59	53	54	52	51	51	38

＊3月16日現在

3. 保育園開所時間

		保育標準時間	保育短時間	備考
早朝延長	7:00~8:00	最大11時間	有料	
通常保育	8:00~16:00		最大8時間	
夕方延長	16:00~18:00		有料	
有料延長	18:00~19:00	有料		土曜日は無し

4. 職員

(1)3月1日時点での在籍内訳(人)

常勤職員	11人	保育士	10人	看護師	0人	栄養士	1人	支援センター	0人
パート職員	27人	保育士	17人	看護師	1人	栄養士	0人	支援センター	0人
調理員	2人	嘱託医	0人	保育補助	7人				

5. 運営報告

(1)開催した施設内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
わくわく会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
にこにこ会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

(2) 各種ワーキングチームを設置し、職員主体での運営

食育 WT	健康な生活の基本としての「食を通した命の営み」の育成に向け、その基礎を培えるよう、食育計画の作成や食育環境、栄養管理などに取り組む。 保育の中での様々なクッキングなど積極的に取り入れる。

6. 保育・処遇

(1) 保育・保護者面接および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	・グループリーダーが中心となり、日々の保育の内容や書類の進め方を主体的に考えスケジュールを管理したことで、クラス全体がスムーズに動けるようになった。 ・ノンコンタクトタイムが取りやすくなるよう、全体の「体制ボード」を工夫して人員を調整した。できる限り事務時間を確保することで、業務の効率化と丁寧な保育の両立を目指した。 ・日々の保育のなかで姉妹園の「ヒヤリハット」も含め共有することで、事故の未然防止に努めた。また、感染症が発生した際などは特に、玩具や室内の消毒を徹底し、子どもたちが安心して過ごせる環境を整えた。
保護者面談および発達相談	・保育参加の際、保護者との面談を行い、保育園での生活の様子や、発達について共有した。 ・子どもの巡回相談事業を利用し、発育発達に不安のあるお子さまの様子を見てもらい、助言をいただく。その情報を保護者と連携施設（児童発達・発育支援センター）と共有し、支援を行う。また、ふじみ野市の子育て支援課や母子保健係とも連携した。
園児の保護者への支援および意見要望への対応	・保護者からのご意見等については、フォームを利用していつでも受付ができるように整備している。今年度も特に保護者からご要望をいただくことはなかったが、子どもの姿を共有し、双方の理解を深めながら、子どもに対してのかかわり方や環境について考える場を設けた。

(2) 年間行事の振り返り

「ウィンターフェスタ」を、となりのすまいる保育園と合同で開催した。保護者会の協力もあり、賑やかで笑顔のあふれる温かい行事となった。「ハロウィン」についても、数名の保護者が参加し、一緒になって作り上げることができた。また、今年度も引き続き「上福岡七夕祭り」に参加した。幼児クラスの子どもたちが全体の構成を考え、それぞれのクラスがパーツを作成し、最後に保護者会の皆様と職員で作り上げていった。共同で竹飾りを作り上げる機会を通して、保護者と一緒に地域の景色に触れる貴重な機会となった。







（3）　給食・食育運営状況

「腸活」を意識し、塩こうじを活用したメニューを増やした。発酵食品を積極的に取り入れることで、給食を通じた健康的な体づくりを推進した。

園内 3 か所に「コンポスト」を設置し、子どもたちと野菜の皮などを入れる活動を開始した。食べ物の循環を身近に感じることで、環境への意識を育んでいる。また、旬の食材に触れる体験や栽培活動も継続して実施した。

クッキング活動としては「おでん」の製作活動から発展し、実際に具材を買いに行き、調理して食べる体験を行った。自分たちで作ったものを食べる喜びを味わうとともに、食材が料理になる過程を体験する機会となった。







（4）　保健に関する実施結果

園児健康診断	6月17日、10月21日の2回実施
歯科健診	6月4日に実施
保健だより	保育アプリ（チャイルドケアウェブ）にて毎月配信
職員健康診断	11月8日、11月29日に実施
職員検便	毎月、乳児保育担当者と厨房担当職員が実施
流行した感染症	4月　流行性耳下腺炎1名　手足口病11名　5月　咽頭結膜熱3名 6月　RS ウイルス1名　7月　咽頭結膜熱1名 8月　咽頭結膜熱1名　9月　流行性角結膜炎1名 12月　流行性角結膜炎1名　1月　流行性角結膜炎1名　溶連菌2名 2月　溶連菌1名
その他、保健に関する取組	5月17日、5月31日、7月5日、7月12日、9月6日に普通救命救急講習実施 8月15・16日と3月28・30日に厨房設備の害虫駆除実施 希望する職員にインフルエンザの予防接種を実施

（5）　避難訓練等実施状況

実施日	訓練内容	消防署立会	消防署届出	その他
4月15日（火）	地震・火災・初期消化	無	無	
5月15日（木）	地震・火災・初期消化	無	無	
6月13日（金）	総合防災訓練 地震・火災・初期消火	有	有	通報訓練 水消火器訓練
7月15日（火）	地震・火災・初期消化	無	無	
8月18日（月）	火災・初期消化	無	無	

9月17日(水)	地震・火災・初期消化	無	無	
10月14日(水)	総合防災訓練 地震・火災・初期消化	有	有	通報訓練 水消火器訓練
11月17日(金)	地震・火災・初期消化	無	無	
12月15日(月)	火災・初期消化	無	無	
1月15日(木)	地震・火災・初期消火	無	無	
2月16日(月)	地震・火災・初期消化	無	無	
3月16日(月)	地震・火災・初期消火	無	無	

7. 危機管理

(1) 非常災害備品の設置

・業務継続計画(BCP)を改訂。
・備蓄品の賞味期限を確認し備蓄用品の点検を実施。備蓄品(水、食料、蓄電池)を買い足した。

(2) 侵入者、不審者対応

・6月30日(月)に実施
不自然な動きで1階保育室の窓を覗くものに対して対応する。
・11月27日(木)に実施
保護者と一緒に不審者が園内に侵入したことに対して対応する(警察立ち合い)。

(3) 実施した環境整備の状況

・厨房スチームコンベンションの購入と設置する(大量調理に合わせてサイズアップ)。
・三丁目1階保育室の雨漏りの原因特定の点検を実施する。
・園舎エアコン(厨房以外)故障に伴い、工事を実施する(原因はガスエアコンのガス漏れ)。
・厨房シンク水漏れの修理を実施する。
・一級建築士井上寿先生によるワークショップにて1.2階保育室のロフトを改修する。
・玄関ドア(2枚)の動きが悪くなり、修理を実施する。

(4) 園外保育での緊急時対応

・子どもの怪我、天候急変、散歩先での不審者対応などを計画的に実施。園への連絡体制や救急要請の方法などを、シミュレーションをしながら訓練を行った。
実施日:4/28、5/28、6/27、10/28、11/26、12/26、1/28
＊その他は昼の話し合いにて実施
・安全委員会の中で、他園で起きたヒヤリハットや事故事例を確認し合い、自園での対応について話し合いを行った。

8. 地域との関わり

(1) 地域への参加

・8月2、3日 上福岡七夕祭りに竹飾りを出展した。

・ふじみ野市社会福祉協議会の会議に参加した。

(2) 公益的な取り組み

・「つながる相談窓口」幟の設置、衣類バンク、フードドライブを実施した。

・ふじみ野市の地域共生プロジェクトに参画し、市のイベントに参加した。

・スターバックス店舗の一部を利用したパパママカフェに参画した。

9. 職員研修

(1) 園内研修実績

実施日	テーマ・内容	参加人数
4月12日	【合同園内研修】 ・安全について(BCP・不審者対応・散歩・食物アレルギー・・食中毒・誤飲誤嚥・SIDS・感染症・水の事故・熱中症・ヒヤリハット・命のリスト・事故報告) ・クレドについて ・人権虐待 ・個人情報について	21人
8月30日	・ぐうたらjourneyの報告 ・あゆみの会ポータルサイトについて ・保護者とのコミュニケーションについて ・保育ドキュメンテーションについて ・環境整備	20人
10月18日	・ぐうたらjourneyの報告 ・指導案の作成について ・人権擁護のセルフチェックリスト ・BCPについて ・不審者対応について ・環境・書類整備	17人
12月6日	・大掃除 ・ウィンターフェスタの準備	19人
2月28日	【合同園内研修】 ・全体的な計画について ・ピンポンについて ・緊急時の対応について	26人
3月28日	・新年度準備	

(2) 外部研修実績

実施日	テーマ・内容	参加人数
5月17日 5月31日 7月5日 7月12日 9月6日	普通救命救急	29人
6月7日	けやの森自然塾「宮台先生の講演」	12人
7月22日	見守る保育藤森メソッド 第59回保育環境セミナー	1人
7月25日	保護者とのコミュニケーション・相談援助	1人
①7月31日～8月1日 ②10月9日～10月10日 ③11月13日～11月14日	ぐうたらjourney	4人

8月19日	令和７年度埼玉県保育士等資質向上研修(インクルーシブ保育)	1人
9月12日	けやの森自然塾「井上先生講演」	7人
11月12日 12月10日	施設見学「そあ季の花保育園」	4人
12月13日	藤森先生と西武文理学園校長の対談	1人
12月15日	施設見学「八国山保育園」	1人
2月27日	小西先生「ぐうたらjourney振り返り」、汐見先生公演	12人

(3) キャリアアップ研修実績

実施日	テーマ・内容	参加人数
8/1~10/17 11/17~1/15	食育・アレルギー対応	6人
11/17~1/15	保健衛生・安全対策	1人
8/13、8/18 8/1~10/17 11/17~1/15	保護者支援・子育て支援	6人
8/1~10/17	乳児保育	7人
6/30、7/4 8/1~10/17 11/17~1/15	幼児教育	3人
8/1~10/17 9/4、9/5 11/17~1/15	マネジメント	8人
8/1~10/17 8/27、8/30 11/17~1/15	障害児保育	3人

令和７年度　鶴ケ岡すまいる保育園　事業報告書

Ⅰ．令和７年度　総括

今年度は「自然（戸外）の保育」をテーマに取り組んだ。昨年度末に園庭へ池を整備したことで、メダカだけでなくアメンボやトンボなど、さまざまな生き物が訪れるようになった。子どもたちは橋やデッキから池を覗き込むだけでなく、自分の手やシャベル、木の枝を水面へ伸ばし、生き物に触れようとする姿が見られた。冬季には池に張る氷と関わる姿もあり、季節の変化を身近に感じている。池の存在により、自然との継続的な関わりが生まれ、園庭環境はより豊かなものになったと感じている。一方で安全面への不安の声もあり、職員間で対話を重ねながら見守り体制を検討した。子どもたちが園庭で遊ぶ時間帯には「池担当」の職員が黄色いタスキを着用し、見守りの役割を明確化している。担当が視覚的に分かることで、職員間の意識共有が進み、安心感の向上につながっている。

またアオハダ、山桜、朴の木、サルナシなど多様な樹木を植樹した。現在はまだ苗木であるが、今後の成長とともに園庭環境がさらに豊かになることを期待している。継続的な整備を行いながら、自然と共に育つ保育環境を大切にしていきたい。

今年度、法人研修の一環として山梨県にある「ぐうたら村」にて、保育者自身が自然の中で体を通して味わう体験（ぐうたら journey）をさせていただいた。その経験をきっかけに、園庭にあるコンポストの在り方を見直した。これまではお当番活動の一つとして取り組んでいたが、現在は興味のある保育者が中心となり、暮らしの営みとして関わっている。そこに自然と子どもたちが集い、共に楽しむ姿が生まれている。形として行う活動ではなく、鶴ケ岡の暮らしの一部として、今後も大切に継続していきたい。



新たに始まった
コンポスト活動





池やバグホ
テルと関わる
子どもたち

今年度は、外部の保育関係者の方々が本園を視察される機会が非常に多かった。４月には麗水市国公立保育園長海外研修として韓国の施設長１９名を迎え、９月には環境整備ワークショップに１０名、１１月にはギビングツリー（GT）の公開保育として２８名、さらに愛媛県の施設長研修として１０名の来園があった。そのほかにも多くの保育・教育関係者にご見学いただいた。こうした機会を通して、園内の環境構成や子どもへの関わりについて改めて見直す契機となり、本園にとっても非常に有意義な学びの場となったと感じている。

今年度、６月から８月にかけて取り組んだ水遊びから氷づくり実験、そしてかき氷づくりへと発展した一連の保育実践を、ソニー幼児教育支援プログラムに論文としてまとめ応募し、奨励園として選出していただいた。論文作成を通して、子ども自身の実体験を何よりも大切にし、その言葉に丁寧に耳を傾けながら、保育者も共に「おもしろがる」存在であることが本園の保育の軸であると改めて認識した。講評では、丁寧に計画を立てつつも先回りし過ぎず、子どもたちの「やってみたい」を支える中で氷の研究がゆっくりと進んでいくプロセスが印象的であるとの言葉をいただいた。本園の実践がこのような形で評価をいただけたことは、今後の保育を進めていく上での大きな励みとなっている。



ソニー教育財団から頂いた奨励園の賞状

2. 児童利用状況

（1）月別利用児童受託状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	4	4	5	6	8	8	8	8	8	8	8	8
1歳児	20	20	20	20	20	20	19	19	18	17	17	16
2歳児	18	17	17	17	16	16	17	18	18	18	18	17
3歳児	18	19	19	19	20	20	20	20	20	20	20	19
4歳児	17	17	17	17	17	17	16	16	16	16	16	16
5歳児	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13

（2）延長保育利用状況（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用総人数	89	75	103	109	62	95	111	88	103	79	87	75(3/16現在)

3. 保育園開所時間

		保育標準時間	保育短時間	備考
早朝延長	7:00～8:00	最大11時間	有　料	
通常保育	8:00～16:00		最大8時間	
夕方延長	16:00～18:00		有　料	
有料延長	18:00～19:00	有　料		土曜日は無し

4. 職員

（1）3月1日時点での在籍内訳（人）

常勤職員	15人	保育士	13人	看護師	0人	栄養士	2人	支援センター	0人
パート職員	33人	保育士	11人	看護師	2人	栄養士	1人	支援センター	2人
調理員	2人	嘱託医	0人	保育補助	15人				

5. 運営報告

（1）開催した施設内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
わくわく会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
にこにこ会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

（2）各種ワーキングチームを設置し、職員主体での運営

安全 WT	本年度は、園内外の環境整備および保全に努めるとともに、安全・防災意識の向上を図った。散歩先での想定訓練、警察立ち会いによる防犯訓練、小学校までの広域避難訓練を実施し、実践的な対応力の強化に取り組んだ。また、各種マニュアルを改めて確認し、その内容に基づいた職員間の連携強化を図ることで、安全体制の充実に努めた。 今後も継続的な見直しと訓練を重ね、より実効性の高い安全管理体制を構築していく。
食育 WT	本年度は、健康な生活の基盤となる「食を通した命の営み」の育成を目指し、食育計画の作成および食育環境の整備、適切な栄養管理に取り組んだ。保育活動の中では、さまざまなクッキング活動や畑での収穫体験を積極的に取り入れ、食材に触れ、育て、味わう体験を通して、食への関心と感謝の気持ちを育んだ。また、「ぐうたら journey」を通じてコンポスト活動を継続し、野菜の切れ端や残食を堆肥化する取り組みを進めることで、命の循環を実感できる環境づくりに努めた。今後も、日常生活と結びついた食育活動の充実を図っていく。

6. 保育・処遇

（1） 保育・保護者面接および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	本年度より、保育書類を「チャイルドケアウェブ」にて一元的に作成できる体制を整備した。これにより、日々のドキュメンテーションにおいて保育者の意図や想いを具体的に記録・共有できるようになった。 また、子どもの写真を用いたドキュメンテーションを活用しながら日々の振り返りを実施することで、子どもの姿や育ちのおもしろさを職員間で共有し、翌日以降の保育の展開について具体的に協議できる体制が構築された。 今後も記録と対話を通して、保育の質のさらなる向上に努めていく。
保護者面談および 発達相談	本年度は、現在の子どもの状況を職員間で共有しながら、事務所等に気軽に立ち寄り相談しやすい環境づくりに努めた。その結果、保護者からの声や相談が寄せられやすい体制が整いつつある。また、日々の子どもの姿に応じて個別面談の機会を増やし、発達状況や育ちについて丁寧に共有しあった。必要に応じて関係機関と連携し、ケースカンファレンスを実施することで、継続的かつ多面的な支援体制の強化を図った。今後も、保護者との信頼関係を基盤とし、連携体制の充実に努めていく。

園児の保護者への支援および意見要望への対応	ご意見があった場合には、しっかりと面談して話を聞く場を設けた。必要に応じて、職員の個別指導や全体共有などを行い、スピード感を持って問題解決に取り組んだ。

（2） 年間行事の振り返り

・6 月の親子ふれあい遊び会は、例年同様、となりのすまいる保育園との共同開催とし、鶴が丘小学校の体育館をお借りして実施した。当日は両親だけでなく、祖父母やきょうだいなど多くのご家族に参加していただいた。毎回、子どもたちと相談しながら踊る曲を決め、子どもたちの選択を大切に準備を進めている。広い体育館の中で、のびのびと楽しそうに踊る姿はとても印象的であった。また、保護者も自然と輪に加わり、最後には会場全体が一体となる温かな雰囲気に包まれ、心に残るひとときとなった。
・ウィンターフェスタでは、日頃から子どもたちが楽しんでいる遊びをコーナーとして準備した。今年度は保育テーマ「戸外（自然）の保育」に基づき、制作活動も戸外で行うことが多かったことから、どんぐりなどの木の実や枝、落ち葉、さまざまな種類の紙など豊富な素材を用意し、親子で自由に造形活動を楽しめるようにした。当日は子どもたちはもちろん、保護者の方々も夢中になって取り組む姿が印象的であった。行事のための特別な準備というよりも、多様な素材を揃え、自由に表現できる環境を整えたことで、一人一人の豊かな表現が生まれていた。今後もこのような自由な表現活動を大切にしていきたい。
・鶴ケ岡では、2 月に行われる地域のお祭り「梅まつり」に合わせて「成長展」を開催している。成長展は単なる作品展ではなく、年間を通じた子どもたちの成長を保護者の方々と分かち合うことを目的として取り組んできた。作品のある子どもは室内展示を行い、幼児クラスでは成長展に向けて自分で見せたいものを考え、制作する姿も見られた。また、日々の姿をまとめた動画も上映し、子どもたちの育ちをより実感できる時間となった。地域の梅まつりと同日に開催することで、保護者や職員が地域の行事にも足を運ぶ機会となり、地域と園とがより一体となる一日となった。

（3） 給食・食育運営状況

・個々の発達や生活リズムに応じ、楽しく和やかな食事の時間となるよう一人ひとりの気持ちを尊重した関わりを心がけた。食事時間に幅をもたせ、食べたい意欲を大切にしながら、月・星・宙グループではテラスを利用した「青空給食」も実施し、好きな友だちや場所を自ら選んで食事ができるようにした。
・虹グループは来年度に向けて 1 月からトレーで給食を運ぶ経験を取り入れ、2 月頃からは保育者との「いっぱい・ちょっと」のやり取りを通して食べる量を自分で決めている。午後食ではセルフおにぎりを行い、自分で作る喜びを感じている。
・離乳食の介助者が食事介助の方法を学び、一口量やスプーンを口に運んだ後の関わりについて共有し、子ども主体の食事介助を意識した。夢・華・虹グループでは季節の食材に触れる食育活動を行い、五感を通して食材への関心を深めた。
・保育と厨房の食育担当者で計画を立て、月・星・宙グループでは午後のおやつのクッキング活動を実施した。子どもたちの「作ってみたい」という気持ちを大切にし、さつまいもなど同じ食材をテーマにした活動も行い、食への興味関心を深めながらルールやマナーも学んだ。
・宙グループは 3 食食品群について学んだ上で対話を重ね、卒園のお祝い献立のメニューを考えた。畑活動では園庭で採れた野菜に触れ、月・星・宙グループでは保育者と対話しながら「どのように食べた

いか」を考え、食を楽しむ姿が見られた。

・SDGs やぐうたら Journey で学んだ「循環」の視点から、昨年度に引き続きコンポスト活動を継続し、興味をもった子どもたちと保育者が取り組んでいる。

（４） 保健に関する実施結果

園児健康診断（内科健診）	年２回実施(6 月 25 日、10 月 8 日)
園児歯科検診	年１回実施(6 月 11 日)
保健だより配信	毎月配信
職員健康診断	年１回(11 月 8 日、11 月 29 日)
職員検便実施	年度当初：全職員、毎月：乳児担当・厨房担当者・看護師　実施
流行した感染症	りんご病が 6 月に 5 名、ヒトメタニューモウイルス感染症が 6 月に 5 名、インフルエンザ A 型は 11 月と 12 月に 6 名ずつ、インフルエンザ B 型は 2 月に 9 名発生したが、いずれも流行には至らなかった。その他、RS ウイルス感染症、プール熱、アデノウイルス感染症、突発性発疹、流行性角結膜炎、とびひ、溶連菌感染症、手足口病、ヘルパンギーナ、ウイルス性胃腸炎、水痘が数名ずつ報告された
その他、保健に関する取組	普通救命救急講習受講 5 月 17 日、5 月 31 日、7月 5 日、7 月 12 日、9 月 6 日 厨房設備の害虫駆除 8 月 14 日、8 月 15 日、3 月 28 日、3 月 30 日 職員のインフルエンザワクチン接種（任意） 3~5 歳児を中心に保健指導の実施（手洗い・咳エチケット・うがい・プライベートパーツ）、5歳児：歯磨き 身体測定：毎月

（５） 避難訓練等実施状況

実施日	訓練内容	消防署立会	消防署届出	その他
4 月 15 日	避難・初期消火	無	無	
5 月 15 日	避難・初期消火	無	無	
総合避難訓練 6 月 12 日	避難・初期消火・通報	有	有	水消火器訓練
7 月 15 日	避難・初期消火	無	無	
8 月 18 日	避難・初期消火	無	無	
9 月 16 日	避難・初期消火	無	無	
総合避難訓練 10 月 15 日	避難・初期消火・通報	有	有	水消火器訓練 伝言災害ダイヤル練習
11 月 17 日	避難・初期消火	無	無	
12 月 15 日	避難・初期消火	無	無	
1 月 15 日	避難・初期消火	無	無	

2月16日	避難・初期消火	無	無	広域避難訓練
3月13日	避難・初期消火	無	無	

7. 危機管理

（1）非常災害備品の設置

・備蓄品のカロリー計算を行い、園児・職員分の不足分である食品・水の購入を行った。
・防災用品として、非常用トイレの補充を行った。

（2）侵入者、不審者対応

・3/17（火)園内にて不審者訓練を実施する。

（3）実施した環境整備の状況

・園内の防犯体制強化のため、防犯カメラを６台増設した。これまで死角となっていた箇所についてもカメラで確認できるようになり、園内の安全確認がしやすくなったことで、職員の安心感にもつながっている。
・事務所の壁から漏水していることが判明したため、修繕対応として３月２８日に漏水工事を実施する予定である。
・園内の建具において、鍵の開錠に不具合が生じている箇所が確認されたため、３月１３日に建具修繕を実施し、３月中の完了を予定している。
・砂場の上にパーゴラを設置し、砂場の日よけとなる環境づくりを進めた。また、柱付近にはサルナシ、カラスウリ、アケビなどのつる性植物を植栽した。今後、植物が生長することで、来年度には砂場の日よけとして機能することを期待している。

（4）園外保育での緊急時対応

【にこにこ組】
・園外で子どもが怪我（病気）をした際の対応訓練　7月8日・1月28日
・園外にて子どもが動けなくなった際の対応訓練　6月6日・10月28日
・子どもが行方不明となった際の対応訓練　12月25日
・園外で不審者に遭遇した際の対応訓練　7月29日・11月28日・2月27日
・天候急変の際の対応訓練　4月28日・8月29日
・公園でスズメバチが発生した際の対応訓練　9月30日
【わくわく組】
・園外で子どもが怪我（病気）をした際の対応訓練　5月29日・1月8日
・園外にて子どもが動けなくなった際の対応訓練　12月2日
・子どもが行方不明となった際の対応訓練　9月1日・3月6日
・園外で不審者に遭遇した際の対応訓練　7月30日・10月27日・1月29日
・天候急変の際の対応訓練　7月8日・10月9日

にこにこ組・わくわく組、毎月１回の訓練を計画して実施。
気温上昇により園外の活動が行えない時期や、訓練予定日の天候によっては、園内にてシュミレーションで訓練を実施。
毎回の訓練に際して、対応マニュアルに沿って行動し、反省点や気付きを挙げ、マニュアルやフローチャートの修正を行った。

8.　地域との関わり

（１）子育て支援

年 6 回のふじみ野市子育て拠点会議に参加。地域における配慮の必要な子育て世帯の共有に努め、どの施設に足を運んでも同じ支援が受けられるよう尽力した。ふじみ野市子育て拠点主催の子育て支援者研修会に参画し、子育て支援においての知識向上のため藤原里美先生をお招きして講演をして頂く。自園からも複数の職員が講演会に参加し、学びを深めた。

（２）つどいの広場

イベントの積極的な開催に努め、育児リフレッシュの機会を設けた。子育てや生活の悩みに寄り添い、必要に応じて、上野台子育て支援センターと共有を図り、きめ細やかな配慮に努めた。

新設したイベントでは、わが子の発達において不安を抱える保護者が気軽に参加でき、同じ悩みの仲間を探し対話を主とする「けやきの日」を新設。利用人数は伸び悩んでいるが、継続が最も効果的であると考える。引き続き、イベントの意義を発信していきたい。

遠方や家庭の事情で足を運べない保護者にために、地域広報委員会の力を借りて、オンラインにて月 2 回程度つどいの広場を開催した。また、定期コースの 4 回子育て講座を開催。看護や栄養士の協力のもと、より専門的な知見からの支援を行った。

（３）一時預かり事業

今年度は、前期にリフレッシュ保育利用が多く見られた。人員配置の難しさから、後期に関しては閉鎖となった。定期的に利用希望の連絡が入る為、次年度の体制調整が必須と考える。

（３）行政機関との連携を通した地域包括支援事象への参画

令和７年度は、地域とのつながりを深め、子育て家庭を含めた地域福祉の推進を目的に、行政や地域団体と連携した活動に取り組んだ。ふじみ野市社会福祉協議会およびふじみ野市地域福祉課と協働し、地域福祉に関する会議や事業に参画した。

つるがまい第二層協議体が主催する鶴ケ岡マルシェへの参加や、社会福祉法人連絡会、第一層協議体への出席を通して、町会や福祉関係機関とのネットワークづくりや地域課題の共有を行った。また、フードドライブ事業への参加やデイサービスそらまめとの交流を通して、世代を超えた地域交流の機会を持つことができた。さらに、地域の節目となる行事であるふじみ野市 20 周年記念式典にも参加した。

地域福祉に関わる会議や事業への参画を通して、関係機関との連携を深めることができた。また、世代間交流や地域子育て支援の取り組みを通して、子どもたちと地域住民とのコミュニケーションが取れる場づくりにつながった。

課題としては、保育園の取り組みや子育て支援の情報発信が十分とは言えず、地域住民との関わりをさらに広げていくことが課題である。

今後も地域関係機関との連携を大切にしながら、地域交流や情報発信を充実させ、子育て家庭と地域をつなぐ拠点としての役割を果たしていきたい。

これらの取り組みを通して、町会や福祉関係機関など多様な主体と連携し、子どもから高齢者まで多世代がつながる地域づくりの一端を担う活動となった。

9. 職員研修

（1）園内研修実績

実施日	テーマ・内容	参加人数
4月12日	・法人クレドについて ・安全について：SIDS、誤飲・誤嚥、水の事故、散歩マニュアル、子どもの人権、個人情報、虐待、BCP、不審者対応、食中毒防止、感染症対策	22人
7月31日 ～8月1日	ぐうたらjourney	2人
8月30日	・虐待、人権について ・蜂、毒虫について ・研修報告	15人
10月9日 ～10日	ぐうたらjourney	3人
10月18日	・保護者対応について ・感染症対策（インフルエンザ） ・不審者対応 ・管理職不在時の緊急対応 ・BCPについて	13人
11月13日 ～14日	ぐうたらjourney	2人
12月6日	・大掃除 ・職場のメンタルヘルス	13人
2月28日	・各園実践報告 ・部会報告	人
3月28日	・新年度準備	人

（2）外部研修実績

実施日	テーマ・内容	参加人数
5月12日	保育所における虐待防止・不適切保育・保護者対応	1人
5月23日	脳と心の発達を科学の視点で理解する	1人
6月7日	子どもを森へ帰せ 宮台真司氏講演会	12人
6月13日	幼児教育を語る・伝える保育者	1人
6月23日	ふじみ野市私立園研修会	1人
7月5日	保育環境の研究会	3人
9月12日	安全の中で好奇心は育たない 井上寿氏講演会	11人
10月16日	令和7年度西部地区幼保小連携推進協議会	1人
10月22日	埼玉県保育士等資質向上研修	1人
10月22日	子育て支援従事者研修	1人
11月12日	園見学研修	2人
12月10日	園見学研修	2人
12月12日	埼玉県保育士等資質向上研修	1人
12月15日	園見学研修	2人

（3）キャリアアップ研修実績

実施日	テーマ・内容	参加人数
11月30日	乳児保育	6人
11月30日	幼児保育	4人
11月30日	障害児保育	7人
11月30日	保護者支援・子育て支援	2人
11月30日	食育・アレルギー対応	6人
11月30日	マネジメント	1人
2月28日	乳児保育	3人
2月28日	幼児保育	4人
2月28日	障害児保育	3人
2月28日	保護者支援・子育て支援	6人
2月28日	食育・アレルギー対応	2人
2月28日	保健衛生・安全管理	4人
2月28日	マネジメント	3人

令和７年度　高階すまいる保育園　事業報告書

Ⅰ．令和７年度　総括

開園から 6 年が経過して園は安定した運営を継続しています。園見学には、入園を希望される保護者様が数多く訪れました。今年度は、地域の方々とのつながりを大切にし、地域の草むしりに参加するようにしました。また、ハロウィンでは、自治会長さんにお菓子を子供たちに渡す役目を引き受けて頂きました。その他、公民館で行われる「お話し会」にも参加しました。それから高階西小学校に依頼をし、年長児の活動の見学をして貰ったり、懇談会で「小学校へ行くまでにしておきたいこと」について、保護者にお話をして貰ったりしました。

保育環境においては、井上寿先生（一級建築士・日本保育環境学会こどもアドバイザー）のご指導の下、にこにこ組には生き物に興味関心を抱く子どもたちのために、背の高さに水槽を置ける台を設置。虹グループの部屋には微細遊びに集中できるコーナーを。屋上園庭では、子どもたちが身を乗り出してしまう壁を使ってアトリエを作りました。そして支援センターには、大きなロフトを設置し子どもたちの登りたい気持ちを受け止めました。





井上先生ワークショップ

保育内容においては、子どもの主体性を最大限に尊重しながら、必要なときにだけ大人がそっと支え、子どもたちが自分の意思を大切にできるよう、その気持ちを尊重しています。そして子どもが自発的に活動できる環境を整えることを重視し、活動中は、指示ではなく、気づきを促す言葉を選んで声をかけることを大切にした保育を心がけています。地域には、そのニーズに応え積極的に 0 歳児を受け入れ、定員（80 名）は、６年連続して超え、Max120%の充足率にて弾力運営を行っています。小学校との連携は年長児だけでなく、年中児も参加し、就学への憧れの気持ちを育みました。年長児は学校探検や生活課の行事への参加などを体験しました。また、就学前の幼保小連絡会議や情報交換などを通じて各小学校との連携を図り、学校教育への円滑な移行を目指して継続的な支援を行っています。

地域の子ども・子育て支援事業では、今年は開催日を月一回に変更しましたが、地域のお母様たちには、オンラインつどいの広場へも出席をして頂けるようになりました。一時預かり事業では、毎月固定の就労のお子様のご利用を増やして安定した事業展開を致しました。



ハロウィン




学校探検

2. 児童利用状況

（１）月別利用児童受託状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	13	15	15	18	18	20	20	20	20	20	20	20
1歳児	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
2歳児	12	12	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9
3歳児	14	14	14	14	13	13	13	13	13	13	13	13
4歳児	14	14	14	13	13	13	13	13	13	13	13	13
5歳児	17	17	17	17	17	17	17	17	17	16	16	16

（２）延長保育利用状況（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用総人数	208	170	201	161	97	128	127	112	87	106	113	120

3. 保育園開所時間

		保育標準時間	保育短時間	備考
早朝延長	7:00～8:00	最大11時間	有　料	
通常保育	8:00～16:00		最大8時間	
夕方延長	16:00～18:00		有　料	
有料延長	18:00～19:00	有　料		土曜日は無し

4. 職員

（１）３月１日時点での在籍内訳（人）

常勤職員	15人	保育士	14人	看護師	0人	栄養士	1人	支援センター	0人
パート職員	33人	保育士	15人	看護師	1人	栄養士	1人	支援センター	1人
調理員	3人	嘱託医	1人						

5. 運営報告

（1）開催した施設内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
わくわく会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
にこにこ会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

（2）各種ワーキングチームを設置し、職員主体での運営

食育 WT	・健康な生活の基本としての「ゆったりとつなげよう保育と食育　たっぷりと育てよう栄養士と調理員」「食育活動を日々の保育に取り入れる」をテーマに食育計画の作成や食育環境、栄養管理などに取り組みました。 ・保育と給食の一体化を推進し、栄養士、調理員、保育者との連携を強化しました。

6. 保育・処遇

（1） 保育・保護者面接および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	・保育の振り返りを毎日行い、子どもの主体性を育む保育を実践しました。 ・園だより、チャイルドケアウェブ（公開日誌）、ポートフォリオ、ドキュメンテーション、ブログ等を通じて保育内容を積極的に伝え、保育の可視化を推進しました。
保護者面談 および 発達相談	・送迎時の対話をはじめ、日頃のコミュニケーションや保育参加・個人面談等を通して、保護者と子どもの育ちを共有しました。 ・現在の子どもの姿を丁寧に共有し、双方の理解を深めながら、子どもへの関わり方や環境づくりについて共に考えました。 ・川越市と連携した巡回発達相談では、作業療法士の指導の下、適切な支援を行い、専門家の助言を保育に生かしました。 ・保護者の悩みや不安については、適宜個別面談を実施し、子育ての負担感や不安の軽減に努めました。
園児の保護者への支援 および 意見要望への対応	・口頭での要望や連絡帳の記載内容など、小さな事柄であっても相手の立場に立って真摯に受け止め、保護者の心に届くような伝え方に配慮しました。 ・保護者アンケートの集約結果や保育参加の感想では保護者アンケートの集約結果、保育参加の感想では好意的なものが多く、感謝の気持ちをコドモンや園だより通じて発信しました。 ・来年度の「全体的な計画」立案にあたり、保護者アンケートを実施し反映させました。

（2） 年間行事の振り返り

・保護者と共に作り上げる行事と念頭に、保護者アンケートを実施し企画を考え、「入園式」「親子ふれあい遊び会」「ウィンターフェスタ」「卒園式」を行いました。

・行事のあり方として、日常の保育に変化と潤いをもたせ、子どもたちの体験の幅を広げることを大切にしました。子どもの発想を尊重し、自発的に取り組めるよう工夫を重ねました。
・今年度は、行事を通して子どもたちが小学校や自治会など地域とつながる機会を増やすことができました。今後もこうしたつながりを大切にしていきたいと考えています。

（3） 給食・食育運営状況

・一人ひとりの発達や生活リズム等に合わせて、気持ちを尊重した食事ができるようになりました。
・0歳～2歳児（にこにこ組）では、季節の食材に触れ、香りや触感を楽しむ活動を行いました。
・3歳～5歳児（わくわく組）では、SDGsの視点から食べ物を大切にする気持ちを育む活動に取り組みました。
・厨房調理員も園児への配膳に積極的に関わり、子どもとの対話を継続しました。
・献立に郷土料理や世界の料理を取り入れ、食の多様性や文化に触れる機会をつくりました。

（4） 保健に関する実施結果

園児健康診断	年2回実施（6月4日・10月1日）
歯科健診	年1回実施（6月25日）
保健だより	毎月児童数配付（チャイルドケアウェブ一斉配信、玄関アプローチに掲示）
職員健康診断	年1回（11月8日及び29日）
職員検便	年度当初：全職員　毎月：0歳児担当・厨房担当者実施
流行した感染症	インフルエンザA/B　　新型コロナウイルス感染症　　感染性胃腸炎 ※いずれも集団感染には至らず
その他 保健に関する取組	5月17日、5月24日、5月31日、7月12日：普通救命救急講習受講 8月14・15日、3月28・30日厨房設の害虫駆除実施 11月8日、29日　職員にインフルエンザ予防接種

（5） 避難訓練等実施状況

実施日	訓練内容	消防署立会	消防署届出	その他
4月15日	避難・初期消火（地震）	無	無	
5月15日	避難・初期消火（地震・火災）	無	無	
6月13日	避難・初期消火・通報訓練（地震・火災）	有	有	総合訓練
7月15日	避難・初期消火（地震・火災）	無	無	
8月18日	避難・初期消火（火災）	無	無	
9月16日	避難・初期消火（地震）	無	無	
10月15日	避難・初期消火・通報・引き取り（地震）	有	有	総合訓練
11月12日	避難・初期消火（地震）	無	無	
12月15日	避難・初期消火（火災）	無	無	
1月15日	避難・初期消火（地震）	無	無	
2月13日	避難・初期消火（火災）	無	無	
3月13日	避難・初期消火（地震）	無	無	

7. 危機管理

（1）非常災害備品の設置

・非常災害備品を整備し、補充しました。
・賞味期限を確認して、備蓄用品を点検しました。
・職員用ヘルメットを揃え、大人がまず身を守ることで子どもを安全に導ける体制を整えました。
・インカムを新規購入し、緊急時に即時の連絡が取れる体制を強化しました。

（2）侵入者、不審者対応

・警察官立ち合いで不審者役が実際に侵入する不審者訓練を実施し、学びを得ました。

（3）実施した環境整備の状況

・園舎内外に設置した21台のモニターカメラを活用し、事故発生時の検証や事例検討を行いました。
・「命のリスト」に基づく日々の環境整備について、昼礼や全体会議（職員会議）で内容を確認しました。
・日々の振り返りや昼礼での情報共有・意見交換を通じて、各クラスの環境整備を改善しました。
・井上寿先生（一級建築士・日本保育環境学会こども環境アドバイザー）の指導の下、保育環境を見直しを行いました。

（4）園外保育での緊急時対応

・毎月28日を「散歩の日」として設定し、戸外活動中の緊急時対応訓練を実施しました。
・急激な天候変化、子どもの怪我や体調不良、不審者対応、激しいぐずり、見失いなど、想定されるあらゆる場面を踏まえて訓練を行いました。

8. 地域との関わり

（1）子育て支援

・ブログやインスタグラムを通じて、園の日常や取り組みを発信し、多くの方へ情報を届けました。
・わらべうたのYouTube配信を行い、家庭でも親子で楽しめる子育て支援コンテンツを提供しました。

（2）つどいの広場

・毎月1回、平日に「つどいの広場」を実施し、地域の外部講師を招いて「産後の骨盤ケア」「リフレクソロジー」「アロマ」など、子育てに役立つ講義と実体験の機会を提供しました。
・新たな取り組みとして「オンラインひろば」を開催し、インターネットを通じて子育て家庭とつながり、手遊びや歌遊びの紹介、看護師による健康に関する話など、家庭での子育ての参考となる内容を発信しました。

（3）一時預かり事業

・地域のニーズに応え、就労やリフレッシュなど多様な理由による利用や問い合わせが多くありました。
・定期利用につながるケースも増え、就労支援としての役割も果たしました。

（4）自治会との交流

・園長が諏訪町自治会の会合や地域の祭りに参加し、地域との関係づくりを進めました。
・諏訪町公園の草むしりに職員と園長が参加し、子どもたちが日頃散歩で利用している公園を自治会と協力して美化しました。
・地域の祭りやイベントのポスターを園の掲示板に掲示し、保護者へ参加を呼びかけることで地域とのつながりを広げました

（5）小学校との連携

・散歩の際に校庭を利用させてもらうなど、日常的に学校との交流を図りました。
・園行事「ハロウィン」では、子どもたちが職員室を訪れ、合言葉を伝えてお菓子を受け取る体験を行いました。
・親子ふれあい遊び会や引き取り訓練では、高階南小学校の体育館を借用し、地域資源を活用した行事運営を行いました。
・宙グループ（5歳児）の後期保護者会には小学校担任を招き、就学に向けた話をしてもらいました。
・宙グループ（5 歳児）の小学校訪問を実施し、小学校担任と保育園職員との情報交換・意見交換の場を設け、就学支援につなげました。

9. 職員研修

（1）園内研修実績

実施日	テーマ・内容	参加人数
4月12日	※合同園内研修 ・法人クレドについて　・すまいる委員会について ・虐待、子どもの人権、SIDS、散歩マニュアル、BCP、食中毒、感染症 ・水の事故（水遊びの留意事項）、誤飲、誤嚥 ・CCW（キラキラシート、個別月案、発達チェック、配慮事項）	21人
5月17日 5月24日 5月31日 7月12日	普通救命救急講習	34人
6月21日	※午前「親子ふれあい遊び会」　午後「園内研修」 ・親子ふれあい遊び会反省 ・保育園職場のハラスメントについて ・各クラスの環境整備	19人
8月30日	・夏に流行る感染症　・危険な虫について　・保護者対応 ・電話対応　・人権擁護セルフチェックリストについて ・研修報告（学芸大研修・ぐうたら村研修）　・ハラスメントについて ・各クラス環境整備	16人

10月18日	・不審者対応について　・感染症（インフルエンザについて） ・土曜日の緊急対応について　・CCW のタグ付けについて ・クラスリーダーの役割とは　・事例検討 ・研修報告（保育環境セミナー）	16人
12月6日	・職場のメンタルヘルス　・Googleworkspace 導入に向けて ・研修報告（ぐうたら村研修）　・感染症（下痢・嘔吐）	12人
2月28日	※合同園内研修 ・令和８年度の就労、運営規定、就業規則、しおり、重要事項説明書、 ・こども誰でも通園制度、令和８年度の体制発表、・ソニー受賞発表、 ・ロコタウン、ワークショップ、ぐうたら journey、GT 埼玉、ping-pong	19人
3月28日	・新年度準備　・入園式準備　・各クラス環境整備	20人

（2）外部研修実績

実施日	テーマ・内容	参加人数
5月16日	安田式研修会 「日々の遊びを運動へつなげる」	1人
5月24日	川越市令和7年度保育施設職員研修「夢中になってあそびこむ保育2」	1人
6月1日	WISK（発達検査）の読み方講習会	1人
6月3日	東京学芸大附属幼稚園 2025 年度・研究協議会・学年別公開保育検討会 幼児教育を語る・伝える保育者～保育の可視化の工夫2～	1人
6月7日	けやの森研修宮地真司氏講演会「子どもを森へ帰せ」	11人
6月24日	川越市私立保育園協会研究会「インクルーシブ保育（発達の多様性に合わせたクラス運営）	1人
7月3日	令和7年度保育施設職員研修 「食物アレルギーの子が楽しめる保育園であるために」	2人
8月5日	子どものよりよい成長を考える研究会	1人
9月8～9日	見守る保育 藤森メソッド 第58回保育環境セミナー	1人
9月10日	令和7年度新任保育士向け資質向上研修 「遊びの技術」	1人
9月12日	パパフレネの会	12人
9月21日	令和7年度保育施設職員研修 「食物アレルギーの子が楽しめる保育園であるために」	2人
10月16日	令和7年度西部地区幼保連携推進協議会	1人
10月26日	子どもの発達や特性を理解した保育と保護者支援を考える	1人
10月28日	川越市立保育園協会研修会「子ども理解を深め、アタッチメント形成のためにプロの保育士として必要なこと（不適切保育を防止するために）」	6名
11月1日	令和7年度保育施設職員研修「こどもの発達や特性を理解した保育と保護者支援を考える」	3人
11月14日	川越市私立保育園協会研究会「インクルーシブ保育（発達の多様性に合わせたクラス運営）	1人
12月17日	令和7年度埼玉県保育士等資質向上研修「遊びの技術～パネルシアター・手遊び読み聞かせ他～」	1人
12月18日	埼玉県保育士等資質向上研修	1人

1月29日	GT埼玉のつどい in バンビ保育園	1人
1月14・28・2月4日	初任主任保育者研修	1人
1月16・2月5・16日	保育所等実習指導研修	1人

（3）キャリアアップ研修実績

実施日	テーマ・内容	参加人数
10月10日	障害児保育	2人
10月10日	幼児教育	1人
10月31日	マネジメント	2人
11月30日	乳児保育	2人
11月30日	食育アレルギー	4人
11月30日	幼児教育	2人
11月30日	保健衛生・安全対策	4人
11月30日	保護者支援・子育て支援	1人
1月15日	障害児保育	1人
1月15日	マネジメント	2人

令和７年度　　板橋保育園　事業報告書

Ⅰ．令和７年度　総括

⑴ ２年目を迎えた園運営の安定と深化

運営移管から２年目となる今年度は、昨年度の立ち上げ期とは異なり、園全体に落ち着きが生まれました。保護者様との相互理解が生まれ、日々の保育や行事運営も安定して進められるようになりました。昨年度に築いた基盤を基に、子どもたちの生活と遊びをより豊かにする取り組みを積極的に展開しました。

⑵ 子ども主体の保育の広がりと新たな経験

今年度は、子どもたちの興味や探究心を起点とした活動が大きく広がりました。2 年目のチャレンジとなる「東京すくすくわくプログラム」では「光と自然」をテーマに据え、芋の栽培や焼き芋会、地域へのおすそ分けなど、園外とのつながりを感じられる経験を重ねました。これらの活動を通して、子どもたちは昆虫や植物への関心を深め、飼育活動、図鑑で調べて学習し、折り紙や制作へと主体的に発展させていきました。

夏祭りでは「昆虫」をテーマに、保育室に大きな木を協同制作するなど、子どもたちの創造力と協働性が存分に発揮されました。カプラやラキューでは高度な作品が次々と生まれ、玄関ホールに展示することで、子どもたちの自信や達成感にもつながりました。

⑶ 保育環境の整備とコミュニティの力

今年度も、すまいるアドバイザー・井上寿先生のご指導のもと、ロフトづくりや室内環境の改善を進めました。２年目となる DIY ワークショップには、保護者様、子どもたち、姉妹園、他園の職員も多数参加し、園全体で環境づくりに取り組む文化が根づきつつあります。

こうした協働の場は、職員同士の連携強化だけでなく、保護者様との信頼関係の深化にも大きく寄与しました。

⑷ 地域・多世代との連携強化

北豊島工科高等学校との関係性はさらに深まり、すまいるフェス（運動会）や合同避難訓練では体育館をお借りし、高校生ボランティアの受け入れも積極的に行いました。多世代が自然に交わる環境は、子どもたちにとっても大きな刺激となり、地域に開かれた園としての役割がより明確になりました。

また、こども教育宝仙大学・富山大士先生による園内研修やゼミ生との交流では、職員が保育を深く学び直す貴重な機会となり、保育の質向上に確かな手応えを得ています。

⑸ 職員の成長と組織としての成熟

新規開園から２年が経ち、職員一人ひとりが子どもの姿を丁寧に捉え、保育を語り合えるチームへと成長してきました。行事の準備・実施・振り返りのサイクルも定着し、保育の質を高めるための共

通言語が育ちつつあります。

⑹ 今後の展望（３年目を見据えた計画性と安定した運営に向けて）

子ども主体の保育、地域との連携、職員の協働体制など、多方面で確かな広がりを見せています。３年目となる来年度は、これらの積み重ねを一過性の取り組みで終わらせず、園としての「文化」として定着させていく段階に入ります。

今年度の探究活動や協同制作で得た学びを体系化し、日々の保育に継続的に活かせるよう、環境構成や記録・振り返りの方法をさらに整えていきます。また、地域・多世代との連携は、北豊島工科高等学校や大学との協働を継続し、子どもたちの経験の幅を広げるだけでなく、園が地域に根ざした学びの拠点として機能することを目指します。

職員育成については、２年間で培ったチームワークを土台に、行事の準備・実施・振り返りの質を高め、保育の専門性を深める研修体制を計画的に整備します。新たな職員が加わっても安定した保育が提供できるよう、組織としての仕組みづくりにも取り組みます。

これらの取り組みを通して、３年目の園運営では、「安定」と「発展」を両立させることを目標とし、保護者様・地域の皆様・職員が一体となって、子どもたちが安心して挑戦できる環境づくりを進めてまいります。






2. 児童利用状況

（１）月別利用児童受託状況

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
１歳児	16	16	16	19	20	20	20	20	20	20	20	20
２歳児	18	18	18	20	20	20	20	20	20	20	20	20
３歳児	21	21	20	20	19	19	19	19	19	19	19	19
４歳児	21	21	21	20	20	20	21	21	21	20	20	20
５歳児	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13

（２）延長保育利用状況（延べ人数）

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	11 月	12 月	１月	２月	３月
延べ人数	85	71	95	95	82	80	86	59	84	79	60	80

3. 保育園開所時間

		保育標準時間	保育短時間	備考
早朝延長	7:15～8:15	最大 11 時間	有　料	
通常保育	8:15～16:15		最大８時間	
夕方延長	16:15～18:15		有　料	
有料延長	18:15～20：15	有　料		土曜日は無し

4. 職員

（１）３月１日時点での在籍内訳（人）

常勤職員	16 人	保育士	14 人	看護師	０人	栄養士	１人	支援センター	１人
パート職員	14 人	保育士	９人	看護師	０人	栄養士	１人		人
調理員	２人	嘱託医	１人						

5. 運営報告

（１）開催した施設内会議

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
全体会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
わくわく会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
にこにこ会	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

6. 保育・処遇

（１） 保育・保護者面接および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	・公開保育日誌（保育ドキュメンテーション）や電子連絡帳を通して日々の子どもの姿を共有し、月ごとの活動映像とあわせて、園と家庭がともに子どもの育ちを見守る関係づくりに努めました。
保護者面談 および発達相談	・年１回の個人面談に加え、希望に応じて随時個別面談を行い、保護者様の不安や要望にきめ細かく対応しました。
園児の保護者への支援 および意見要望への対応	・保護者向けに一日保育体験（保育参加）を実施し、子どもと共に過ごすことで保育内容への理解と園との共通認識を深めました。 ・日々寄せられるご意見やご要望には真摯に向き合い、早期解決に努めました。

（１） 年間行事の振り返り

・「入園式」「夏祭り（昆虫まつり）」「すまいるフェス（運動会）」「伝承あそびウィーク」「豆まき」「卒園おいわい会」「お別れ散歩」など、年間を通して多様な行事を実施しました。
・行事の企画にあたっては、保育者が一方的に決めるのではなく、子どもたちの姿や話し合いをもとに、主体的に楽しめる取り組み方を大切にしました。今年度は、子どもたちのアイデアを反映し、思い思いにデザインした衣装を身にまとって「ランウェイ」を行い、夏祭りが一層盛り上がりました。
・今後も、子どもたちの“やりたい”という思いを尊重し、主体性を育む行事づくりを進めていきます。

（２） 給食・食育運営状況

・一人ひとりの発達や生活リズムに合わせ、気持ちに寄り添った食事ができるよう配慮しました。
・今年度は腸活をテーマに、砂糖をきび糖へ変更し、塩こうじを使った新しい献立にも取り組みました。
・1～2 歳児（にこにこ組）は、季節の食材に触れ、香りや感触を楽しむ食育活動を行いました。
・3～5 歳児（わくわく組）はセミバイキング形式を導入しており、食べたい量を自分で選びながら配膳者とのやり取りを経験しました。5 歳児は配膳当番にも取り組み、自立心を育みました。
・ガラス張りの厨房により、調理員との自然な対話が生まれ、子どもたちが給食を楽しみにする姿が多く見られました。
・行事食や郷土料理、世界の料理を献立に取り入れ、食の多様性や文化に触れる機会を大切にしました。
・さらに、保護者様からいただいたタケノコや、子どもたちが育てたナスやゴーヤなどをその場で調理することで、野菜が苦手な子どもも興味を持って食べられるようになっています。

（３） 保健に関する実施結果

園児健康診断（内科健診）	年 2 回実施（服部医院）
園児歯科検診	年 1 回実施（濤岡歯科医院）
保健だより配信	毎月チャイルドケアウェブ一斉配信
職員健康診断	年 1 回実施
職員検便実施	毎月全職員
流行した感染症	感染性胃腸炎、インフルエンザ
その他、保健に関する取組	園児の布団乾燥（毎月 1 回） 普通救命救急講習受講（5/17・7/19） 厨房設備の害虫駆除（8/16・3/28）　職員にインフルエンザ予防接種

（４） 避難訓練等実施状況

実施日	訓練内容	消防署立会	消防署届出	その他
4 月 15 日	避難・初期消火	無	有	
5 月 15 日	避難・初期消火	無	有	
6 月 17 日	避難・初期消火	無	有	
7 月 15 日	避難・初期消火	無	有	

8月18日	避難・初期消火	無	有	
9月18日	避難・初期消火	無	有	
10月15日	避難・初期消火	無	有	
総合避難訓練 6月17日 10月15日	避難・初期消火・通報 広域避難場所避難	無	有	通報訓練 水消火器訓練 引き取り訓練
11月14日	避難・初期消火	無	有	
12月19日	避難・初期消火	無	有	
1月15日	避難・初期消火	無	有	
2月13日	避難・初期消火	無	有	
3月14日	避難・初期消火	無	有	

7. 危機管理

（1）非常災害備品の設置

・非常災害備品を計画的に整備し、防災対策の強化を進めました。賞味期限や備蓄品の点検を定期的に行い、BCPの見直しに基づいて必要な備蓄品（子ども用マスク、爪切り、マスク、サージカルテープ、ピンセット、嘔吐処置用エプロン、フットカバー等）を追加購入しました。
・職員の災害対応訓練も継続して実施し、非常時に迅速かつ適切に対応できる体制づくりに努めています。
・これらの取り組みにより、子どもたちと職員が安心して過ごせる安全な環境を整えました。

（2）侵入者、不審者対応

・警察署の都合により、今年度は警察官立ち会いの不審者対応訓練は実施できませんでしたが、園内で独自に訓練を行いました。
・職員が不審者役を務め、本番さながらの緊張感をもって実施したことで、職員と子どもたちは状況判断や避難行動をより具体的に身につけることができました。
・計画的な訓練を通して、緊急時に迅速かつ適切に対応できる体制づくりを継続して強化しています。

（3）実施した環境整備の状況

・園舎内外に設置した33台のモニターカメラを活用し、事故発生時の検証や事例検討を行い、環境改善に反映しました。
・昼礼ではヒヤリ・ハット報告を共有し、危険箇所や動線の見直しを継続的に実施しました。
・「命のリスト」に基づく日々の環境点検を行い、昼礼で周知・確認することで、安全管理の徹底を図りました。
・日々の振り返りや情報共有を通して、各クラスの保育環境を随時改善しました。
・井上寿先生（一級建築士・日本保育環境学会こども環境アドバイザー）の助言を受け、保育環境のレイアウトや動線を見直し、子どもが安心して過ごせる空間づくりを進めました。

（４）園外保育での緊急時対応

・法人共通の「園外保育（お散歩）マニュアル」に基づき、計画時・出発前・園外保育中・帰園時の各場面で必要な配慮事項を遵守し、安全管理を徹底しました。
・日々の散歩では「チェックリスト」を用いて個別点呼を行い、顔と名簿を照合しながら、人数ではなく「人間確認」を確実に行いました。

8.　地域との関わり

（１）子育て支援

・ホームページ、ブログ、インスタグラム、掲示板などを通じて園の様子を発信し、保護者様や地域の方々とのコミュニケーションに努めてきました。
・子どもたちの活動や行事の様子に加え、保育方針や教育内容についても積極的に情報提供し、地域からの理解と信頼の向上に努めました。
・わらべうたの YouTube 配信を行い、家庭でも親子で楽しめる子育て支援コンテンツを提供しました。
・また、今年度の新たな取り組みとして「オンラインひろば」を実施しました。
・子育て家庭とオンラインで画面を共有し、当園の職員が手遊びや歌遊びを紹介することで、家庭と園を結ぶ新たな子育て支援の形を提供しました。

（２）一時預かり事業

・今年度は一時預かり事業を実施し、地域の子どもが年齢相当のクラスに入り、在園児とともに過ごしました。
・日々の保育活動に参加することで、園の環境や生活リズムに自然に触れられる機会となり、地域の子育て支援としての役割を果たしました。

9. 職員研修

（１）園内研修実績

実施日	テーマ・内容	参加人数
5/17・7/19	普通救命救急講習	32人
4月12日	※合同園内研修 ・法人クレドについて　・すまいる委員会について ・虐待、子どもの人権、SIDS、散歩マニュアル、BCP、食中毒、感染症 ・水の事故（水遊びの留意事項）、誤飲、誤嚥 ・CCW（キラキラシート、個別月案、発達チェック、配慮事項）	16人
6月21日	・保育園職場のハラスメントについて ・各クラスの環境整備	16人

8月30日	・夏に流行る感染症 ・危険な虫について ・保護者対応 ・電話対応　　・人権擁護セルフチェックリストについて ・研修報告（学芸大研修・ぐうたら村研修） ・ハラスメントについて ・各クラス環境整備	20人
10月16日	・保育園職場のメンタルヘルス ・緊急対応について	16人
10月18日	・不審者対応について　　・感染症（インフルエンザについて） ・土曜日の緊急対応について ・CCW のタグ付けについて ・クラスリーダーの役割とは ・事例検討 ・研修報告（保育環境セミナー）	16人
12月6日	・職場のメンタルヘルス　　・Googleworkspace 導入に向けて ・研修報告（ぐうたら村研修） ・感染症（下痢・嘔吐）	22人
12月20	・環境について ・安全について	22人
2月28日	※合同園内研修 ・令和8年度の就労、運営規定、就業規則、しおり、重要事項説明書、 ・こども誰でも通園制度、令和8年度の体制発表、・ソニー受賞発表、 ・ロコタウン、ワークショップ、ぐうたら journey、GT 埼玉、ping-pong	22人
3月28日	・新年度準備　・入園式準備　・各クラス環境整備	22人

（２）外部研修実績

実施日	テーマ・内容	参加人数
５月７日	板橋区園長研修	１人
５月 22 日	板橋区保育士研修「0 歳からの子どもの権利」	１人
５月 29 日	板橋区障害児研修「関係機関との連携と保護者支援」	１人
６月７日	けやの森研修	16人
６月 10 日	板橋区危機管理・安全保育研修「乳幼児の健康観察と安全保育」	１人
６月 10 日	東京学芸大附属幼稚園研修	１人
６月 12 日	板橋区子ども発達支援センター支援者研修 「気持ちの切り替えが難しいお子さんの対応」	２人
６月 13 日	板橋区保育士研修「保育園での病気やけがの対応」	１人
６月 18 日	板橋区保育士研修「保育園と小学校の接続をどうするか」	１人
６月 19 日	板橋区障害児保育研修「ことばを育てるかかわり方」	１人
７月３日	幼保小連携研修(１回目)	１人

7 月 10 日	板橋区私立保育園園長会 研修部主催 『新任職員研修』	2 人
7 月 14 日	板橋区職層別研修「コミュニケーション向上研修」	1 人
7 月 14 日	板橋区保育士研修「保育現場で活かせるコミュニケーション」	1 人
7 月 31 日～ 8 月 1 日	ぐうたら journey	1 人
8 月 1 日	東京ウィメンズプラザ「配偶者暴力（DV）の実態と被害者親子への対応」	1 人
8 月 1 日	東京ウィメンズプラザ「子の養育と DV-法律を知って現場の対応に活かす」」	1 人
8 月 26 日	富山先生「不適切保育防止研修」	10 人
9 月 12 日	井上寿先生講演会	12 人
9 月 13 日	井上先生ワークショップ（高階）	4 人
9 月14 日	井上先生ワークショップ（鶴ケ岡）	15人
9 月 26 日	就学前教育カンファレンス	1 人
10 月 9 日	板橋区研修 食育の推進	1 人
10 月9～10 日	ぐうたら journey	2 人
10 月 15 日	板橋区乳幼児期の保育・教育ガイドライン研修	1 人
10 月 18 日	メンタルヘルス研修	15 人
10 月 21 日	板橋区「子どもの成長を促すおもちゃの選び方と遊び方」	1 人
10 月 29 日	板橋区子ども発達支援センター支援者研修 「乳幼児期の感覚運動遊びの大切さと気がかりなこどもへの支援」	1 人
11 月 2 日	井上先生ワークショップ	16 人
11 月 12 日	そあ季の花保育園見学	2 人
11 月 14 日	東京学芸大学附属幼稚園研修	1 人
11 月 13～14 日	ぐうたら journey	2 人
11 月 26 日	BCP 策定ワークショップ	1 人
11 月 26日	板橋区「幼保小連携研修」	1 人

12 月 6 日	メンタルヘルス研修	20 人
12 月 10 日	そあ季の花保育園見学	2 人
12 月15 ～16 日	第 59 回保育環境セミナー「チーム保育」	1 人
12 月 15 日	八国山保育園見学	2 人
2 月 6 日	東京都保育事業者セミナー 「よりよい園運営のために必要なタイプ別コミュニケーション」	1 人

（3）キャリアアップ研修実績

実施日	テーマ・内容	参加人数
5 月 13 日	幼児教育	2 人
5 月 17 日	障害児保育	1 人
5 月 18 日	保健衛生・安全対策	1 人
5 月 25 日	幼児教育	1 人
5 月 25 日	乳児保育	1 人
6 月 9 日	乳児保育	2 人
6 月 28 日	食物・アレルギー対応	1 人
7 月 2 日	乳児保育	1 人
7 月 5 日	障害児保育	1 人
7 月 5 日	保護者支援・子育て支援	2 人
7 月 13 日	乳児保育	2 人
7 月 17 日	乳児保育	1 人
7 月 23 日	幼児教育	2 人
7 月 26 日	保護者・子育て支援	1 人
7 月 27 日	乳児保育	1 人
9 月 8 日	乳児保育	1 人
9 月 11 日	保護者支援・子育て支援	2 人
9 月 22 日	保護者支援・子育て支援	1 人

10月7日	マネジメント	2人
10月21日	幼児教育	1人
11月6日	幼児教育	1人
12月3日	幼児教育	1人
12月20日	障害児保育	1人
1月7日	障害児保育	2人
1月19日	幼児教育	1人
1月29日	マネジメント	1人
2月1日	乳児保育	1人
2月5日	乳児保育	1人
2月14日	乳児保育	1人
2月18日	乳児保育	1人
2月21日	保護者支援・子育て支援	1人
2月21日	マネジメント	1人
2月22日	障害児保育	1人
3月1日	食育・アレルギー対応	1人
3月7日	乳児保育	1人
3月8日	食育・アレルギー対応	1人
3月8日	保健衛生・安全対策	1人
3月15日	保護者支援・子育て支援	2人
3月21日	保健衛生・安全対策	1人
3月29日	幼児教育	1人

令和７年度　となりのすまいる保育園　事業報告書

Ⅰ．令和７年度　総括

本年度は「自然」を大きなテーマに掲げ、五感を通した実体験と、そこから生まれる子どもたちの「気付き」や「共感」を軸に保育を展開しました。



春の稲作りや夏の赤しそシロップ作り、秋の遠足での火おこし体験、冬の自然物を用いたウィンターフェスタなど、四季折々の自然に直接触れることで、子どもたちは色彩の変化や生命の力強さを学びました。特に、自分たちで話し合いを重ねて作り上げた「すまいるまつり」や「お別れ遠足」の計画では、自分の意見を伝えつつ相手の思いを尊重する「心の育ち」と「団結力」が顕著に見られました。

環境構成の工夫により、ロフト下での見立て遊びや異年齢交流が活発化し、言葉によるコミュニケーションの幅が大きく広がりました。未知の場所への不安を乗り越えて挑戦する姿や、年下のお友だちを思いやる姿に、一年を通した確かな成長を実感しています。

＜環境を通した主体性の育ちと対人関係の広がり＞

本年度、園内環境の再構成として取り組んだ「ロフト下のカウンター設置」は、子どもたちの社会性を育む大きな転換点となりました。お店屋さんごっこでは、単なる模倣に留まらず、役割を分担し、言葉のやり取りを通じて遊びを広げる姿が見られました。また、異年齢交流の場となった「すまいるまつり」では、年上の子が年下の子を思いやり、招待状を作成したり、わかりやすい言葉で接したりする「共感性の育ち」が随所に溢れていました。自分たちで課題を見つけ、話し合いを重ねて解決していく過程は、子どもたちの自信へと直結しています。

＜五感の探究と「自然」への深い関わり＞

年間のテーマであった「自然」との関わりは、単なる観察に留まらず、科学的な気付きや感性の醸成へと繋がりました。霧吹きを使った「にじみ絵」では色の混ざりや風の動きに驚き、赤しその調理では加熱や酢による色彩の変化に目を輝かせました。また、けやの森や公園での活動を通じ、どんぐりの形状の違いや植物の特性（毒性など）を実体験として学び、知識を自分のものにしていきました。冬の厳しい寒さの中でも、ため池の氷や雪の感触を楽しみ、それを料理に見立てて遊ぶ想像力の豊かさは、本園が大切にしている「遊びの中の学び」を体現するものでした。

＜未来へつながる成長の軌跡＞

年度後半には、進級・進学を見据えた活動が中心となりました。お別れ遠足に向けた話し合いでは、自分の希望を理由とともに伝える論理的な発信力と、他者の意見を静かに聞く姿勢が確立されました。一人ひとりが「自分も周りも大切にする」という土台を築き上げた一年でした。これらの経験は、次なる新しいステージにおいても、子どもたちが困難を乗り越え、自ら歩みを進めるための大きな糧となると確信しております。

次年度も、子どもたちの瑞々しい感性に耳を傾け、豊かな想像力と探究心を育む環境作りを継続し、一人ひとりが主体的に輝ける保育を目指してまいります。

2. 児童利用状況

（1）月別利用児童受託状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	1	1	1	1	1	1	3	3	3	3	3	3
1歳児	4	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4
2歳児	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
3歳児	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
4歳児	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
5歳児	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

（2）延長保育利用状況（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用総人数	17	11	13	14	11	10	11	10	13	13	11	11

3. 保育園開所時間

		保育標準時間	保育短時間	備考
早朝延長	7:00～8:00	最大11時間	有　料	
通常保育	8:00～16:00		最大8時間	
夕方延長	16:00～18:00		有　料	
有料延長	18:00～19:00	有　料		土曜日は無し

4. 職員

（1）3月1日時点での在籍内訳（人）

常勤職員	4人	保育士	3	看護師	0	栄養士	0	支援センター	0人
パート職員	14	保育士	7	看護師	2	栄養士	0人	支援センター	0
調理員	0	嘱託医	0人	保育補助	9				

5. 運営報告

（1）開催した施設内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

全体会議												
わくわく会												
にこにこ会												

（２）各種ワーキングチームを設置し、職員主体での運営

食育 WT	健康な生活の基本としての「食を通した命の営み」の育成に向け、その基礎を培えるよう、食育計画の作成や食育環境、栄養管理などに取り組む。 保育の中での様々なクッキングなど積極的に取り入れる。

6. 保育・処遇

（１） 保育・保護者面接および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	・グループリーダーが中心となり、日々の保育の内容や書類の進め方を主体的に考えスケジュールを管理したことで、クラス全体がスムーズに動けるようになった。 ・ノンコンタクトタイムが取りやすくなるよう、全体の「体制ボード」を工夫して人員を調整した。できる限り事務時間を確保することで、業務の効率化と丁寧な保育の両立を目指した。 ・日々の保育のなかで姉妹園の「ヒヤリハット」も含め共有することで、事故の未然防止に努めた。また、感染症が発生した際などは特に、玩具や室内の消毒を徹底し、子どもたちが安心して過ごせる環境を整えた。
保護者面談および発達相談	・保育参加の際、保護者との面談を行い、保育園での生活の様子や、発達について共有した。 ・子どもの巡回相談事業を利用し、発育発達に不安のあるお子さまの様子を見てもらい、助言をいただく。その情報を保護者と共有し、支援を行う。 ・幼児の友だち関係でのトラブルについて、子供から聞いている内容と違うことで保護者が不安に思ったり、行き渋りをして心配になり相談することが多くなった。
園児の保護者への支援 および意見要望への対応	・日々のコドモンでの発信や口頭による要望、保護者会役員からの質問等にはその都度対応した。 ・ご意見があった場合には、しっかりと面談して話を聞く場を設けた。必要に応じて、職員の個別指導や全体共有などを行い、スピード感を持って問題解決に取り組んだ。

（２） 年間行事の振り返り

本年度の行事を振り返ると、日々の積み重ねが大きな成長へと繋がった、実り多き一年であったと感じています。

前半の「ふれあいあそび会」では、お家の方と一緒に楽しむ子どもたちの弾けるような笑顔が印象的でした。初めての環境に緊張していた子も、遊びを通じて心を通わせる中で、少しずつ自分を表現できるようになったのは大きな一歩でした。

冬の「ウィンターフェスタ」では、寒さに負けず、目標に向かって粘り強く取り組む姿が見られました。友達と協力して一つのことを成し遂げる喜びを分かち合い、集団としての絆が一段と深まったと感じています。その集大成となった「成長展」では、作品の一つひとつに個性が

宿り、入園当初からは想像もつかないほど豊かになった表現力に、私自身も深い感動を覚えました。

また、「懇談会」を通じて保護者の皆様と直接お話しできたことは、非常に貴重な時間でした。ご家庭での様子を共有し、共にお子様の成長を喜び合えたことで、より強固な信頼関係を築くことができたと実感しています。

これらの行事で得た達成感や学びを糧に、次年度も子どもたち一人ひとりの個性に寄り添い、さらなる成長のサポートに邁進してまいりたいと思います。







わくわく幼児の作品の１部です

（３） 給食・食育運営状況

「腸活」を意識し、塩こうじを活用したメニューを増やした。発酵食品を積極的に取り入れることで、給食を通じた健康的な体づくりを推進した。

園内 3 か所に「コンポスト」を設置し、子どもたちと野菜の皮などを入れる活動を開始した。食べ物の循環を身近に感じることで、環境への意識を育んでいる。また、旬の食材に触れる体験や栽培活動も継続して実施した。

・夢・華・虹グループは季節の食材に触れ、五感を刺激し、食材を知る食育活動を行った。

・保育と厨房の食育担当者で計画立案、打ち合わせを行い、月・星・宙グループは午後のおやつのクッキング活動を行った。子どもたちの食への興味関心を深め、ルールやマナーを学びながらの充実した活動となった。

・子どもたちは畑の活動や日々の暮らしの中で、園庭の畑で採れた新鮮な野菜に触れた。月・星・宙グループでは、保育者と対話し「どのようにしてどのような味で食べたいか」を伝え、食を楽しむ姿があった。

・SDGｓの取り組みとして、コンポストの活動を昨年度に引き続き、わくわく組のお当番の活動で今年度も継続した。

（４） 保健に関する実施結果

園児健康診断（内科健診）	６月１７日、１０月２１日の２回実施
園児歯科検診	年１回実施(6 月 4 日)
保健だより配信	毎月配信
職員健康診断	年１回(11 月 8 日、11 月 29 日)
職員検便実施	年度当初：全職員、毎月：乳児担当・厨房担当者実施
流行した感染症	４月　流行性耳下腺炎１名　　手足口病１１名　　５月　咽頭結膜熱３名 ６月　RS ウイルス１名　７月　咽頭結膜熱１名

	８月　咽頭結膜熱１名　９月　流行性角結膜炎１名 １２月　流行性角結膜炎１名　１月　流行性角結膜炎１名　溶連菌２名 ２月　溶連菌１名
その他、保健に関する取組	5月17日、5月31日、7月5日、7月12日、9月6日に普通救命救急講習実施 8月15・16日と3月28・30日に厨房設備の害虫駆除実施 希望する職員にインフルエンザの予防接種を実施 3～5 歳児を中心に保健指導の実施（手洗い・咳エチケット・プライベートパーツ） 身体測定：毎月

（５） 避難訓練等実施状況

実施日	訓練内容	消防署立会	消防署届出	その他
４月　15 日	避難・初期消火	無	無	
５月　15　日	避難・初期消火	無	無	
７月　15 日	避難・初期消火	無	無	
８月　18 日	避難・初期消火	無	無	
９月　19 日	避難・初期消火	無	無	
総合避難訓練 ６月　13 日 10 月　14 日	避難・初期消火・通報 広域避難場所避難	有	有	通報訓練 水消火器訓練 引き取り訓練
11 月　17 日	避難・初期消火	無	無	
12 月　15 日	避難・初期消火	無	無	
１月　15 日	避難・初期消火	無	無	
２月　16 日	避難・初期消火	無	無	
３月　16 日	避難・初期消火	無	無	

7. 危機管理

（１）非常災害備品の設置

・業務継続計画（BCP）を改訂。

・備蓄品の賞味期限を確認し備蓄用品の点検を実施。

（２）侵入者、不審者対応

・・６月３０日（月）に実施

不自然な動きで１階保育室の窓を覗くものに対して対応する。

・１１月２７日（木）に実施

保護者と一緒に不審者が園内に侵入したことに対して対応する（警察立ち合い）。

（３）実施した環境整備の状況

・熱中症に関して、暑い時期はすべて指数を測定し対応した。指数の低い時でもテラスにミストを設置し対応した。

・屋上と１階テラスに屋根を設置した。

（４）園外保育での緊急時対応

・子どもの怪我、天候急変、散歩先での不審者対応などを計画的に実施。園への連絡体制や救急要請の方法などを、シミュレーションをしながら訓練を行った。
実施日：4/28.5/28.6/27.10/28.11/26.12/26.1/28.2/20
＊その他は昼の話し合いにて実施
＊毎回の訓練に際して、対応マニュアルに沿って行動したことで、フローチャートの見直し、修正につながった。

8.　地域との関わり

（１）地域への参加

・年 6 回のふじみ野市子育て拠点会議に参加。地域における配慮の必要な子育て世帯の共有に努め、どの施設に足を運んでも同じ支援が受けられるよう尽力した。
・８月２．３日上福岡七夕まつりに竹飾りを出展した。
・11 月 29 日ステライーストにてふじみ野市地域共生社会展に星・宙参加した。
・上福岡駅前にてあいさつキャラバンに参加した



（２）公益的な取り組み

・「つながる相談窓口」旗の設置、衣類バンク、フードドライブを実施した。
・ふじみ野市の地域共生プロジェクトに参画し、市のイベントに参加した。
・スターバックス店舗の一部を利用したパパママカフェに参画した。

（３）一時預かり事業

今年度は、就労による定期利用が多くあった。急遽利用を希望するケースもあった。１歳児の利用が多かった。

9. 職員研修

（１）園内研修実績

実施日	テーマ・内容	参加人数
４月 12 日	【合同園内研修】 ・安全について：BCP・SIDS、誤飲・誤嚥、水の事故、散歩マニュアル、不適切な保育・不審者対応・食物アレルギー・食中毒・感染症・熱中症・ヒヤリハット・命のリスト・事故報告） ・クレドについて・人権虐待・個人情報	８人
８月 30 日	・ぐうたら journey の報告　・あゆみの会のポータルサイトについて ・保護者とのコミュニケーションについて　・保育ドキュメンテーションについて　・環境整備	６人

10月18日	・ぐうたらjourneyの報告　・指導案の作成について ・人権擁護のセルフチェックリスト　・BCP について　・不審者対応について　・環境書類整備	9人
12月6日	・大掃除 ・ウィンターフェスタの準備	9人
2月28日	【合同園内研修】 ・全体的な計画について　・ピンポンについて ・緊急時の対応について	12人
3月28日	・新年度準備	17人

（2）外部研修実績

実施日	テーマ・内容	参加人数
5月17日 5月31日 7月5日 7月12日 9月6日	普通救命講習	14人
6月7日	けやの森自然塾「宮台先生の講演」	5人
9月12日	けやの森自然塾「井上先生講演」	5人
10月9日.10日	ぐうたらjourney	1人
11月13日.14日	ぐうたらjourney	1人
12月15日	施設見学「八国山保育園」	1人
11月30日	発達障害を支える地域の力	1人
1月23日	絵本講座	2人
1月31日	絵本研修	2人
2月27日	小西先生「ぐうたらjourney振り返り」汐見先生講演	5人

（3）キャリアアップ研修実績

実施日	テーマ・内容	参加人数
9月8日	保健衛生・安全対策	1人
10月10日	障害児保育	1人
11月17日	食育・アレルギー対応	1人
11月24日	マネジメント	1人
11月30日	マネジメント	1人
11月30日	保護者支援	2人
11月30日	幼児教育	1人
11月30日	乳児保育	1人

11月30日	障害児保育	3人
11月30日	食育・アレルギー対応	2人
1月31日	保健衛生・安全対策	1人
1月31日	食育・アレルギー対応	1人
1月31日	乳児保育	1人